Panasonic®

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 DMC-FZ150

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(165～169ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

SDXC™

保証書別添付

VQT3S54

安全上のご注意

はじめに

準備

基本

撮影

再生・編集

他の機器との接続

その他Q&A

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（165～169ページ）

目次（続き）

「安全上のご注意」を必ずお読みください（165～169ページ）

目的別かんたん目次

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  ・本機を落とす、またはぶつける
  ・レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける
- **持ち運ぶときや再生するときは、レンズを収納した状態でお使いください。**
- **本機から「カタカタ」と音がしたり、手に振動が伝わったりすることがありますが、絞り動作やレンズが移動する音、または内部のモーターの動作による振動なので故障ではありません。**

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ

■ 露付きについて(レンズやファインダーが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P156)

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は2011年9月現在のものです。変更されることがあります。

CD-ROM
- パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。

レンズフード
VYQ7134

バッテリーチャージャー※
DE-A83A
(本文中では**チャージャー**と表記します)

レンズキャップ
レンズキャップひも
VYQ5607

バッテリーパック
DMW-BMB9
(本文中では**バッテリー**と表記します)
- 充電してからお使いください。

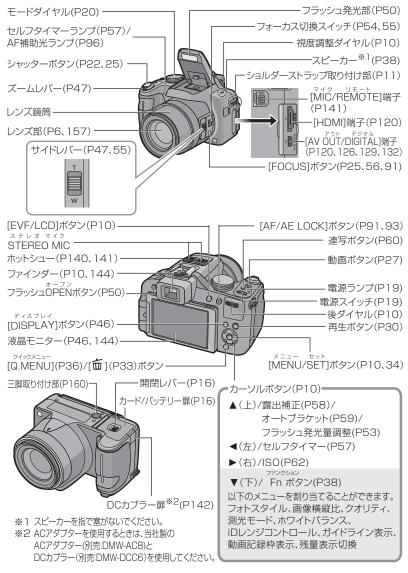
USB接続ケーブル
K1HY08YY0017

ショルダーストラップ
VFC4453

※予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー(DMW-BTC4)をお買い求めください。
- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については136ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

各部の名前と働き

※1 スピーカーを指で塞がないでください。

※2 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC8)とDCカプラー(別売:DMW-DCC6)を使用してください。

液晶モニター

お買い上げ時、液晶モニターは収納状態になっています。
液晶モニターを下図のようにして液晶面を表にします。

❶ 液晶モニターをつまんで開く(最大180°開きます)
❷ レンズ方向に180°回転させる
❸ 元の位置へ閉じる

- **液晶モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。**

液晶モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。
- AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

■ ハイアングル撮影

- 前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。

- 手前に90°まで回転します。

■ ローアングル撮影

- 低い位置にある花を撮影するときなどに便利です。

- レンズ方向に180°まで回転します。

お知らせ

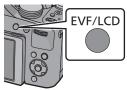
- **液晶モニターを十分開いていない状態で、液晶モニターを回転させると本機に傷がつくおそれがありますのでお気をつけください。**
- **液晶モニターを回転するときは、端子扉が閉じていることを確認してください。端子扉が開いた状態で液晶モニターを回転させると端子扉が破損したり、液晶モニターに傷がついたりするおそれがあります。**
- 液晶モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のため液晶モニターを内側に収納しておくことをお勧めします。
- 動画撮影中に液晶モニターを回転させると、動作音が記録されるおそれがありますので、お気をつけください。

各部の名前と働き（続き）

ファインダー

■ 液晶モニターとファインダーを切り換える

[EVF/LCD] を押す

- LCD（液晶モニター）表示とEVF（ファインダー）表示を切り換えることができます。
- [EVF/LCD] による切り換えはデジタルカメラの電源を [OFF] にしても保持されます。

■ 視度調整について

使う前に視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるように調整できます。

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整する

視度調整ダイヤル

カーソルボタン /[MENU/SET] ボタン

本書ではカーソルボタンの上下左右を次のように、または、▲/▼/◀/▶で説明しています。

カーソルボタン：　項目の選択や、数値の設定などを行います。

[MENU/SET] ボタン：設定内容の決定などを行います。

例：▼（下）ボタンを押すとき

または　**▼を押す**

後ダイヤル

後ダイヤルは左右方向に回す操作と押して決定する操作との2とおりあります。

回す：各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

押す：各種設定時には、設定内容の決定など、[MENU/SET] ボタンと同じ操作を行います。

- 本書では後ダイヤルの操作を次のように説明しています。

例:左右に回すとき

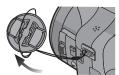
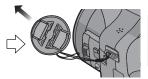
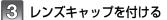
例:後ダイヤルを押すとき

レンズキャップ・ショルダーストラップを付ける

■ レンズキャップを付ける

● 電源スイッチを[OFF]にしているときや持ち運びするときは、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。

1 カメラにレンズキャップひもを通す

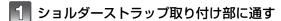
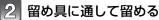
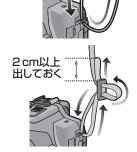
2 レンズキャップにひもを通す

3 レンズキャップを付ける

- 本機をぶら下げたり、振り回したりしないでください。
- 電源[ON]時は、必ずレンズキャップを外してください。
- **レンズキャップの紛失にお気をつけください。**
- レンズキャップひもがショルダーストラップなどとからまないようにお気をつけください。

■ ショルダーストラップを付ける

● **落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。**

1 ショルダーストラップ取り付け部に通す

2 留め具に通して留める

- ねじれないようにもう片方にも付けてください。

レンズフードを付ける

日差しの強い中、逆光時のゴーストやフレアを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮れます。

- 電源スイッチが [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

1 レンズフードの短い方を本機底部に合わせて挿入する

- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

2 レンズフードを矢印の方向に回す

3 いったんマークの手前で止まりますが、マークが合う位置まで回す（“カチッ”と音がして止まります）

- 確実にレンズフードが付いていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。

マークが合う位置まで回す

お知らせ

- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗く(ケラレ)なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。
- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口(P171～173)にお問い合わせください。
- レンズフードを一時的に外して運ぶ場合は、向きを逆にして取り付けてください。撮影時は元の向きに付け直してください。

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2011 年9月現在)

本機で使えるバッテリーは DMW-BMB9です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。 なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

● 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

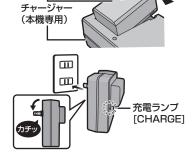
準備

充電する

● お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
● チャージャーは屋内で使用してください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

2 電源コンセントに差し込む

● 充電ランプが点灯し、充電が始まります。

■ 充電ランプの表示について

点灯:　充電中
消灯:　充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

●点滅するときは

・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをお勧めします。
・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

バッテリーを充電する（続き）

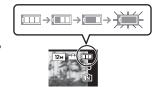
■ 充電時間について

充電時間	約155分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

■ バッテリー残量表示について

残量表示が画面に表示されます。

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。（電源ランプも点滅します）
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

お知らせ

- **電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）

使用時間と撮影枚数の目安

■ 写真記録(液晶モニター使用時)

記録可能枚数	約410 枚	条件はCIPA規格でプログラムAEモード時
撮影使用時間	約205分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード(32 MB)使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始(手ブレ補正[ON]使用)
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30秒に1回撮影)の枚数の約1/4 になります]

■ 動画撮影(液晶モニター使用時)

	AVCHD (画質設定(P99)を[PSH] で撮影)	MP4 (画質設定(P99)を[FHD] で撮影)
撮影可能時間	約110分	約140分
実撮影可能時間	約60分	約75分

- 温度23 ℃/湿度50%RHの環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の [ON]/[OFF] 切り換え、撮影の開始/終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- [MP4]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。ただし、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

■ 再生(液晶モニター使用時)

再生使用時間	約330分

お知らせ

- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は短くなります。
  ・スキー場などの低温下
  ・[液晶モード]使用時
  ・フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返したとき
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

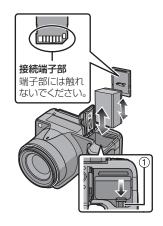
準備

バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源スイッチを[OFF]にして、レンズ鏡筒が収納されていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリー：
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード：
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

3 ❶ カード/バッテリー扉を閉じる
❷ 開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

お知らせ

- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。
  （長期間放置すると、バッテリーは消耗します）
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、電源ランプが完全に消え、レンズ鏡筒が収納されてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）
- バッテリーの代わりにACアダプター（別売：DMW-AC8）を使用する場合は、142ページをお読みください。

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合：**
  内蔵メモリーで画像の記録・再生
- **カードを挿入している場合：**
  カードで画像の記録・再生

内蔵メモリーの場合
IN　IN（アクセス表示※）
カードの場合
（アクセス表示※）
※アクセス時は赤く表示されます。

内蔵メモリー

- **記録した画像はカードにコピーすることができます。(P119)**
- **容量：約70 MB**
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。
（本書では、これらを**カード**と記載しています）

	備考
SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/ miniSDカード※1/microSDカード※1	● **動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class4」以上のカードを使用してください。** ● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 ● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 **http://panasonic.jp/support/sd_w/** ● 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/ microSDHCカード※1	
SDXCメモリーカード (48 GB、64 GB)	

※1　本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
※2　SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

（例）

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

お知らせ

- **アクセス表示点灯中（画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など）は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。**
  カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P45)

書き込み禁止スイッチ

内蔵メモリー/カードについて（続き）

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数・時間の表示について

- 記録可能枚数と時間との切り換えは、セットアップメニューの[残量表示切換](P41)で行えます。

記録可能枚数

記録可能時間

■ 記録可能枚数（写真：枚）

- 残り枚数が 100000 枚以上の場合は、[＋99999] と表示されます。
- **画像横縦比 [4:3]、クオリティ[ ] の場合**

記録画素数	内蔵メモリー（約70 MB）	2 GB	32 GB	64 GB
12M	15	380	6260	12670
5M(EZ)	26	650	10620	21490
0.3M(EZ)	400	10050	162960	247150

■ 記録可能時間（動画撮影時）(h: 時間、m: 分、s: 秒)

- **撮影モード[AVCHD]の場合**

画質設定	内蔵メモリー（約 70 MB）	2 GB	32 GB	64 GB
PSH	—	8m00s	2h31m00s	5h07m00s
FSH	—	14m00s	4h09m00s	8h26m00s
SH	—	14m00s	4h09m00s	8h26m00s

- **撮影モード[MP4]の場合**

画質設定	内蔵メモリー（約 70 MB）	2 GB	32 GB	64 GB
FHD	—	11m40s	3h22m35s	6h50m29s
HD	—	22m17s	6h26m46s	13h03m40s
VGA	1m49s	49m02s	14h11m14s	28h44m42s

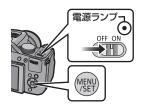
お知らせ

- 記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。
- [WEBアップロード設定]を行うと、カードの記録可能枚数・時間が減少することがあります。
- [MP4]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。ただし、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

時計を設定する

● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

● 電源が入ると電源ランプが点灯します。

2 [MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼で設定する

● [🗑]を押すと、時計を設定せずに中止することができます。

4 [MENU/SET]を押して決定する

:ホームの時間
:旅行先の時間

表示順　時刻表示形式

5 [MENU/SET]を押す

時計設定を変更する

撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選び、▶を押してください。(P34)

● 上記の手順**3**、**4**の操作で変更できます。

● **バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れてください)**

お知らせ

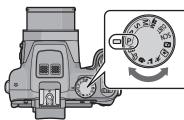
● 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込みを行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。

● 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

基本

P　プログラムAEモード P22
お好みの設定で撮影します。

iA　インテリジェントオートモード P25
カメラにおまかせで撮影します。

応用

A　絞り優先AEモード P64
絞り値を決めて撮影します。

S　シャッター優先AEモード P64
シャッタースピードを決めて撮影します。

M　マニュアル露出モード P65
絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

M　クリエイティブ動画モード P76
マニュアル操作で動画を撮影します。

CUST　カスタムモード P77
あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

SCN　シーンモード P70
撮影シーンに合わせて撮影します。

クリエイティブコントロールモード P66
画質効果を確認しながら撮影します。

アドバンスシーンモード

人物モード P68
人物を撮影します。

風景モード P68
風景を撮影します。

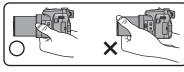
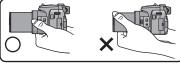
スポーツモード P68
スポーツシーンを撮影します。

クローズアップモード P69
近くにある被写体を撮影します。

夜景&人物モード P69
夜景や夜景を背景にした人物を撮影します。

本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- **フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカー、レンズ部などに指がかからないようにしてください。**
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突するおそれがある場所では周囲に十分お気をつけください。
- レンズ鏡筒をつかんで撮影しないでください。レンズ収納時に指を挟むおそれがあります。

■ 縦位置検出機能について([回転表示])

本機を縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。
([回転表示](P114)を[ON]に設定している場合のみ)

- 本機を縦に構えた状態で、本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。
- 3D写真の縦撮影には対応していません。

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[((📷))]が表示されたときは、手ブレ補正(P96)、三脚、セルフタイマー(P57)、シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)などをお使いください。

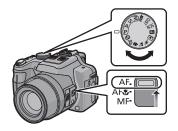
- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ハイダイナミック]
  - ・夜景&人物モードの[夜景&人物]、[夜景]
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[パーティー]、[キャンドル]、[星空]、[花火]
  - ・[下限シャッター速度]設定でシャッタースピードを遅くしたとき

基本

お好みの設定で撮る（P：プログラムAEモード）

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを［P］に合わせる

- フォーカス切換スイッチを[AF]にする。

2 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。画面の撮影可能範囲表示で確認してください。（P24）
- 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードが赤くなります。（フラッシュ発光時を除く）

フォーカス表示

絞り値　ISO感度　シャッタースピード

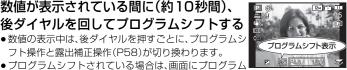
4 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルを回してプログラムシフトする

- 数値の表示中は、後ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作(P58)が切り換わります。
- プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを [OFF] にするか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回してください。

<プログラムシフトの例>

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- プログラムシフトが有効になってから10秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され、通常のプログラムAEに戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。
- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。
- ISO感度を[iISO]に設定すると、プログラムシフトできません。

ピントの合わせ方

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

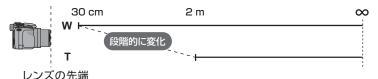
- デジタルズーム時や暗いとき、AF エリアは大きく表示されます。

■ ピントの合う範囲について

ズーム操作時に撮影可能範囲（ピントの合う範囲）が表示されます。

- シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていないと撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

例）プログラムAEモード時のピントの合う範囲

■ ピントが合わないとき（被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど）

1 **被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押しし、ピントと露出を固定する**

2 **シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かし、撮影する**

- 手順 **1** の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

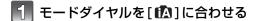
■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの／
ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき／暗いときや手ブレしているとき／
被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときや初心者にお勧めです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別／逆光補正／インテリジェントISO／オートホワイトバランス／顔認識／クイックAF／iDレンジコントロール／超解像／iAズーム／手ブレ補正／AF補助光／デジタル赤目補正／AF 連続動作／ズームマイク
- 画質は[ ]に固定されます。

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる

シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAF エリアが表示されます。
- [FOCUS]を押すと、追尾AF※1 を設定できます。詳しくは、91 ページをお読みください。
（もう一度[FOCUS]を押すと、追尾AFは解除されます）

※1 カラーエフェクトを[白黒]または[セピア]に設定しているときは、追尾 AF 機能は使えません。

設定を変更する

設定できるメニューは以下のとおりです。

メニュー	項目
撮影	[記録画素数]※2/[カラーエフェクト]/[ブレピタモード]/[i手持ち夜景]、[個人認証]
動画	[撮影モード]/[画質設定]
セットアップ	[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]※2/[手ブレ補正デモ]

- メニューの設定方法については34ページをお読みください。

※2 他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

基本

●インテリジェントオートモード独自のメニューについて
・[カラーエフェクト]は[標準]、[Happy]、[白黒]、[セピア]の色彩効果を設定できます。[Happy] 選択時は、自動で色の明るさと鮮やかさが引き立った画像を撮影できます。
・[ブレピタモード]を[ON]に設定すると、撮影画面に[ ]が表示されます。被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。（その際、画素数が減少する場合があります）
・[i手持ち夜景]を[ON]に設定し、手持ち撮影で夜景を撮影中に[ ]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の画像に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない綺麗な夜景を撮影したいときに効果的です。三脚などでカメラを固定しているときは、[ ]と判別されません。

■ フラッシュについて

●フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。（P50）
●[i⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
●[i⚡A◎]、[i⚡S◎]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
●[i⚡S◎]、[i⚡S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

写真撮影時

iA →

i人物	i風景	iマクロ	i夜景&人物 ・[i⚡A]選択時のみ
i夜景	i手持ち夜景※1	i夕焼け	i赤ちゃん※2

※1 [i手持ち夜景]を[ON]に設定時のみ表示されます。
※2 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

動画撮影時

iA →

i人物	i風景	iローライト	iマクロ

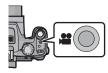
●どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
●[ ]、[ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**（顔認識）**
●[ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
●[個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[ ]、[ ]、[ ]の右上に[R]が表示されます。
●以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
・被写体条件
顔の明暗／被写体の大きさ･色／被写体までの距離／被写体の濃淡／被写体が動いているとき
・撮影条件
夕暮れ／朝焼け／低照度／手ブレが発生したとき／ズーム倍率
●意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをお勧めします。

●**逆光補正について**
・逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

動画を撮る

使えるモード：iA P A S M CUST 🎥M SCN

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 撮影中、[FOCUS] を押すとピントを合わせることができます。
- フラッシュを閉じて動画撮影することをお勧めします。
- [撮影モード] および [画質設定] の設定については、99 ページをお読みください。

記録動作表示　記録可能時間

記録経過時間

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

■ 動画記録方式について

本機はAVCHD、MP4の2種類の記録方式で動画撮影ができます。

AVCHDとは：

高精細なハイビジョン映像を記録できます。ハイビジョン対応テレビでの鑑賞や、ディスクの保存に適した記録方式です。

AVCHD Progressiveとは：

[AVCHD]の[PSH]はAVCHD規格に準拠した最高画質※で記録できる1920×1080/60p記録モードです。
本機または PHOTOfunSTUDIO で保存や再生が可能です。
（※本機においての最高画質を意味します）

MP4とは：

単体の動画ファイルとして保存されるため、パソコンでの編集やWEBアップロードに適した記録方式です。

■ 撮影した動画の互換性について

[AVCHD] および [MP4] で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- [AVCHD]の[PSH]で撮影した動画は、AVCHD Progressiveに対応した機器で再生することができます。
- AVCHD Progressive およびMP4対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

動画を撮る（続き）

使えるモード：iA P A S M CUST 🎥M SCN

お知らせ

- 内蔵メモリーには[MP4]の[VGA]のみ記録できます。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- シーンモードの[スライド3D撮影]では、動画撮影できません。
- クリエイティブ動画以外の動画撮影中は、ISO感度は[AUTO]の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は機能しません。
- ズームやボタン操作、レンズキャップひもが本機にこすれるなどの動作音が記録されるおそれがありますので、お気をつけください。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、ピントが合う範囲が大きく変わります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で同じ場合でも、動画撮影開始時に画角が変わる場合があります。[動画記録枠表示]（P40）を[ON]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）の使用をお勧めします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、撮影途中の動画は記録されません。
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
プログラムAEモード/絞り優先AEモード/シャッター優先AEモード/マニュアル露出モード/スポーツモード/シーンモードの[パノラマアシスト]、[ペット]、[フラッシュ連写]、[花火]、[フォトフレーム]	通常動画
人物モードの[屋外人物]、[屋内人物]/シーンモードの[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]	人物モード
夜景 & 人物モード/シーンモードの[星空]	ローライトモード

動画撮影中に写真を記録する

動画撮影中でも写真を撮影することができます。（同時記録）

動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

●以下の条件で記録されます。

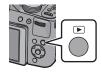
記録方式	記録画素数
[AVCHD] の[PSH]、[FSH]、[SH]	3.5M（16:9）
[MP4]の[FHD]、[HD]	

●動画撮影中に連写撮影することもできます。
●動画撮影中の連写速度は、以下の制限があります。
・[2AF]、[5.5]/[5.5AF]に設定できません。設定しても自動的に[2]、[5]に切り換わります。
・[12]、[40]、[60]に設定できません。設定しても自動的に[10]に切り換わります。

お知らせ

●動画撮影中にシャッターボタンを半押しして写真撮影を行うと、ピントを合わせ直すため、撮影中の動画にもピント合わせの動きが記録されます。動画の映像を優先する場合は、シャッターボタン全押しによる写真撮影、または動画撮影後に写真を作成することをお勧めします。（P32）
●シャッターボタンを半押しすると、記録画素数と記録可能枚数が表示されます。
●写真撮影後は動画撮影が続きます。
●電子シャッターでの撮影になるため、撮影された画像にゆがみが生じる場合があります。
●同時記録の写真は、通常の写真の[3.5 M]とは画質が異なる場合があります。
● 1 回の動画撮影中に記録可能な写真枚数は最大 40 枚です。
●クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定時は、JPEG画像のみが記録されます。
（[RAW]、[RAW]設定時は、クオリティは[★]で記録されます）
●**フラッシュは[⊗]になります。**
●ズーム中に写真を撮影する場合、ズームが止まる場合があります。
●オートブラケットまたはホワイトバランスブラケット設定時は、1 枚のみ撮影されます。
●以下の場合、同時記録はできません。
・[撮影モード]の[MP4]を[VGA]に設定時
・シーンモードの[ハイスピード動画]
・クリエイティブ動画モード時

写真を見る（通常再生）

[▶] を押す

■ 再生を終了する

再度 [▶] を押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

お知らせ

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 他機で撮影された写真は本機で再生できない場合があります。

画像を送る

◀ または ▶ を押す

◀：前の画像へ　　▶：次の画像へ

- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
- ◀/▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。

ファイル番号
画像番号

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

ズームレバーを [▦]（W）側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー検索

- ズームレバーを[Q]（T）側に回すと、1つ前に戻ります。
- サイドレバーを使ってマルチ再生はできません。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

選択画像番号/トータル枚数

■ 1画面表示に戻す

▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

再生画面を拡大する(再生ズーム)

ズームレバーを[Q](T)側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 拡大したあと、ズームレバーを[ ](W)側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶で拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- サイドレバーを使って再生ズームはできません。

■ 再生ズームのまま表示画像を切り換える

再生ズームのズーム倍率、ズーム位置を保持したまま表示画像を切り換えることができます。

再生ズーム中に後ダイヤルを回して画像を送る

- 以下の画像は、ズーム位置が中央に戻ります。
  - ・[画像横縦比]が異なる画像
  - ・[記録画素数]が異なる画像
  - ・回転方向が異なる画像([回転表示]を[ON]にしている場合)

■ 合焦ポイントを拡大する(合焦ポイント表示)

本機は撮影時にピントを合わせた位置(合焦ポイント)を記録し、その位置を中心に拡大することができます。

画像再生時に、[FOCUS]を押す

- 合焦ポイントが画像の端にある場合は、中心にならないことがあります。
- もう一度[FOCUS]を押すと、元の倍率に戻ります。
- 以下の画像では合焦情報がありませんので、拡大されません。
  - ・ピントを合わせずに撮影した画像/マニュアルフォーカスで撮影した画像/他機で撮影した画像

基本

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHD、MP4またはQuickTime Motion JPEGです。

◀/▶で動画アイコン([MP4 VGA]/[AVCHD FSH]など)が付いた画像を選び、▲を押して再生する

- ハイスピード動画を再生する場合は、ハイスピード動画アイコン[HS]が付いた画像を選んでください。
- 再生を開始すると、再生経過時間が表示されます。
  例)8分30秒のとき: 8m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。

■ 動画再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶に対応しています。

▲	再生 / 一時停止
▼	停止
◀	早戻し※/コマ戻し(一時停止中)
▶	早送り※/コマ送り(一時停止中)

[W]	音量下げる
[T]	音量上げる

※ もう一度 ▶/◀ を押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

お知らせ

- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM(付属)のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- 他機で撮影された動画は本機で再生できない場合があります。
- ハイスピード動画再生時は表示される動画記録時間と実際の再生時間は異なります。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]で撮影された動画は、約10倍の速度で再生されます。

動画から写真を作成する

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

1 動画再生中に ▲ を押して、一時停止にする

2 [MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 以下の記録画素数で保存されます。

記録方式	記録画素数
[AVCHD]の[PSH]、[FSH]、[SH]	2M(16:9)
[MP4]の[FHD]、[HD]	2M(16:9)
[MP4]の[VGA]	0.3M(4:3)
Motion JPEGのQVGA(シーンモードの[ハイスピード動画]で撮影時)	0.3M(4:3)

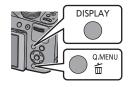
- 他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。

画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。
- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。
- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像は、消去できません。

[▶] を押す

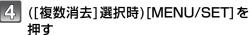
1枚消去

消去する画像を選び、[🗑] を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

複数消去(100枚まで)/全画像消去

1 [🗑] を押す

2 ▲/▼で[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET] を押す
- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[★以外全消去]を選択するとお気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISPLAY]で設定する(繰り返す)
- 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

4 ([複数消去]選択時)[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

お知らせ
- 連写グループ(連写アイコン[⧉]が付いた画像)は1枚として扱われます。連写グループを消去するとグループ内すべての画像が消去されます。(P101)
- 消去中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)を使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

基本

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

■ メニューの種類

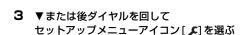
メニュー	内容
[📷] 撮影(P83～)	色合いや感度、横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[🎥] 動画(P99 ～)	撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[MODE] 再生モード(P103 ～)	[お気に入り]設定した画像のみの再生やスライドショー再生など、再生方法を設定できます。
[▶] 再生(P106～)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。
[🔧] セットアップ(P37～)	時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

■ 他のメニューに切り換える

例)撮影メニューからセットアップメニューに切り換える

1 [MENU/SET] を押す

2 ◀を押す

3 ▼または後ダイヤルを回して
セットアップメニューアイコン[🔧]を選ぶ

または

4 ▶または後ダイヤルを押す

●続けてメニュー項目を選んで設定してください。

メニューの設定方法

●セットアップメニューの[メニュー位置メモリー](P45)を[ON]に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択状態の画面になります。

例)撮影メニューで、[オートフォーカスモード]を[■](1点)から[顔](顔認識)に設定する※

※プログラムAEモードで、フォーカス切換スイッチが[AF]に設定されているとき。

1 [MENU/SET] を押す

基本

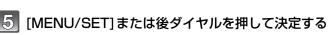
2 ▲/▼ または後ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ

●いちばん下の項目を選んで、さらに▼を押す、または後ダイヤルを右に回すと、次の画面に移ります。

3 ▶ または後ダイヤルを押す

●メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

4 ▲/▼ または後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

5 [MENU/SET] または後ダイヤルを押して決定する

メニューを使って設定する（続き）

■ メニューを終了する

[MENU/SET] を押す、またはシャッターボタンを半押しする

お知らせ

- 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。使えない項目はグレーで表示されます。

1 撮影状態で、[Q.MENU] を押す

2 ▲/▼/◀/▶ で項目と設定内容を選び、[MENU/SET] を押して終了する

- 以下の項目選択中は、[DISPLAY]を押して詳細な設定などができます。
[ホワイトバランス]/[オートフォーカスモード]

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

セットアップメニューの設定方法はP34へ

項目	設定・お知らせ
時計設定	●詳しくは、19ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。 旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。	**[旅行先]、[ホーム]のいずれかを選択後は、◀/▶でエリアを選び、[MENU/SET]を押して決定してください。** ●お買い上げ時はまず[ホーム]を設定してください。[旅行先]の設定は、[ホーム]設定後に行えます。 **[旅行先]**: 旅行先の地域 現地時刻 10:30 ホームとの時差 +0:30 戻る 選択 決定 **[ホーム]**: お住まいの地域 現在時刻 10:00 東京 GMT(グリニッジ標準時)との時差 GMT+9:00 戻る 選択 決定 ●エリア選択時に▲を押すと、サマータイム[ ](夏時間)の設定/解除ができます。 ●ホームでサマータイムを設定しても、現在の日時は進みません。時計設定を1時間進めてください。 ●画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P110)で撮影画像に焼き込むことができます。	**[トラベル日付設定]**: **[OFF]**: 経過日数は記録されません。 **[設定]**: 出発日、帰着日を設定します。撮影時に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。 ●現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。 **[旅行先]**: **[OFF]** **[設定]**: 撮影時に旅行先が記録されます。 ●文字入力の方法については、82ページの「文字を入力する」をお読みください。 ●CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。

セットアップメニューを使う（続き）

項目	設定・お知らせ
トラベル日付 （続き）	● トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。 ● 設定したトラベル日付は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。 ● 出発日より前は、経過日数は記録されません。 ● [AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。 ● 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。 ● インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードで設定した内容が反映されます。
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	[操作音音量]: [ ]: なし [ ]: 小 [ ]: 大 [シャッター音音量]: [ ]: なし [ ]: 小 [ ]: 大 [操作音音色]: [❶] [❷] [❸] [シャッター音音色]: [❶] [❷] [❸]
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。
カスタムセット登録 現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして3つまで登録しておくことができます。	[C1]、[C2]、[C3] ● 詳しくは、77ページをお読みください。
Fn Fn（ファンクション）ボタン設定 ▼ボタンに一部のメニューを割り当てることができます。よく使うメニューを登録しておくと、便利にお使いいただけます。	[フォトスタイル] [画像横縦比] [クオリティ] [測光モード] [ホワイトバランス] [iDレンジコントロール] [ガイドライン表示] [動画記録枠表示] [残量表示切換] ● 撮影メニューの詳細については、83ページをお読みください。

セットアップメニューの設定方法はP34へ

項目	設定・お知らせ
サイドレバー設定 サイドレバーの機能をズームまたはマニュアルフォーカス時のピント合わせなどに切り換えます。	[ZOOM]: サイドレバーをスライドさせて、ズーム操作ができます。(P47) [FOCUS]: マニュアルフォーカス設定時、ピント合わせの操作ができます。(P55) オートフォーカス設定時、AF ロックしている間(シャッターボタン半押し、または [AF/AE LOCK] での AF ロック)にサイドレバーをスライドさせてピントを微調整することができます。 ● インテリジェントオートモード時、動画撮影時は、AFロック中のピント微調整はできません。
液晶調整 /EVF調整 液晶モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	**1 ▲/▼ で設定項目を選び、◀/▶ または後ダイヤルで調整する** **2 [MENU/SET] を押して決定する** 液晶調整 明るさ 戻る 選択 決定 ● 液晶モニター表示時は液晶モニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。 ● 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
LCD 液晶モード 屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	[OFF] [(オートパワーLCD)] ※: 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [(パワーLCD)]: 液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 ※撮影モード時のみ設定できます。 ● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [パワーLCD]の液晶モニターの画面は撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。 ● [液晶モード]設定時は記録可能枚数が減少します。

項目	設定･お知らせ
ガイドライン表示 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。また、ガイドライン表示時に、撮影情報を併せて表示するかしないかを設定します。	[撮影情報]: [OFF] [ON] [パターン]: [田] [⊠] ● 被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。 ● インテリジェントオートモード時は、[パターン]は[田]に固定されます。 ● シーンモードの[フォトフレーム]では、ガイドラインは表示されません。
ヒストグラム表示 ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	[OFF]、[ON] ● ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。 暗い ← 適正 → 明るい ● **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。** ・露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが 0 EV 以外のとき ・フラッシュが発光するとき ・シーンモードの[星空]、[花火]のとき ・フラッシュが閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで液晶モニター/ファインダーの明るさが正確に表示できないとき ● 撮影時のヒストグラムは目安です。 ● 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。 ● パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。 ● 以下の場合、ヒストグラムは表示されません ・インテリジェントオートモード ・動画撮影時 ・シーンモードの[フォトフレーム] ・カレンダー検索 ・マルチ再生 ・再生ズーム ・HDMI ミニケーブル接続時
動画記録枠表示 動画撮影時の画角を確認できます。	[OFF]、[ON] ● 動画記録枠表示は目安です。 ● 記録画素数の設定によっては、T 側にズームしていくと記録枠表示が消える場合があります。 ● インテリジェントオートモード時は[OFF]に固定されます。

セットアップメニューの設定方法はP34へ

項目	設定・お知らせ
残量表示切換 記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。	[(残枚数)]:写真の記録可能枚数を表示します。 [(残時間)]:動画の記録可能時間を表示します。
ハイライト表示 オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。	[OFF]、[ON] ● 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム表示を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P58)再度撮影することをお勧めします。 ● フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。 ● マルチ再生、カレンダー検索、再生ズーム、動画再生時は働きません。 ハイライト表示[ON] ハイライト表示[OFF]
レンズ位置メモリー 電源スイッチを [OFF] にしたときのズーム位置やMF(マニュアルフォーカス)位置を記憶することができます。	[ズーム位置メモリー]: 電源スイッチを[ON]にすると、電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置へ自動的に戻します。 [OFF] [ON] [MF 位置メモリー]: マニュアルフォーカスで設定したMF位置を記憶します。もう一度マニュアルフォーカスの撮影状態になると、記憶したMF位置に自動的に戻ります。 [OFF] [ON] ● 以下のときにMF位置を記憶します。 ・電源 [OFF] にしたとき ・マニュアルフォーカス以外に切り換えたとき ・再生モードに切り換えたとき ● [ズーム位置メモリー]が[OFF]の場合、ズーム位置はW端になります。 ● [MF位置メモリー]が[OFF]の場合、MF位置はマニュアルフォーカスの撮影状態になったときにピントが合っている距離になります。 ● 撮影条件によっては、記憶したときと復帰したときのMF位置は異なる場合があります。

セットアップメニューを使う（続き）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>MF MF アシスト
マニュアルフォーカス時に、ピントが合わせやすくなります。</td><td>[OFF]
[ON]：画面中央部が画面全体に拡大表示されます。
● 詳しくは、56ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td>ECO エコモード
設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。
また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。</td><td>[スリープモード]：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。
[OFF]
[2分]
[5分]
[10分]

[自動液晶OFF]：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。
[OFF]
[15秒]
[30秒]
● [スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。
● インテリジェントオートモード時は、[スリープモード]は[5分]に固定されます。
● [自動液晶OFF]を[15秒]または[30秒]に設定すると[スリープモード]は[2 分]に固定されます。
● 液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。
● 以下の場合、[スリープモード]は働きません。
・ACアダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時
・動画撮影 / 動画再生時　・スライドショー時
・自動デモ
● 以下の場合、[自動液晶OFF]は働きません。
・ACアダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時
・インテリジェントオートモード　・セルフタイマー設定時
・動画撮影 / 動画再生時　・スライドショー時
・メニュー画面表示中　・自動デモ</td></tr>
<tr><td>モニター優先
撮影モードでファインダーを選択していた場合、再生時に自動的に液晶モニターに切り換えます。</td><td>[OFF]
[ON]：撮影モードから再生モードに切り換えたときに液晶モニターが点灯します。ファインダーを点灯させて撮影したときでも液晶モニターに切り換える手間がなくなります。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
オートレビュー 写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	**[OFF]** **[1秒]** **[2秒]** **[ホールド]**：ボタンを押すまで表示 ●以下の場合、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。 ・オートブラケット撮影時 ・夜景＆人物モードの[手持ち夜景] ・シーンモードの[フラッシュ連写] ・連写撮影時 ●インテリジェントオートモードまたはシーンモードの[フォトフレーム]時は[2秒]に固定されます。 ●動画撮影では働きません。
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	●フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ●フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P45)することをお勧めします。 ●フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定、セットアップ設定** ●撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ●撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。 ●セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの[回転表示]は[ON]になります。 ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付]の設定内容(出発日、帰着日、旅行先) ・[ワールドタイム]の設定内容 ・[カスタムセット登録]の設定内容 ・[レンズ位置メモリー]/[メニュー位置メモリー]で記憶させた位置 ●フォルダー番号、時計の設定は変わりません。

セットアップメニューを使う（続き）

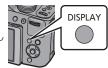
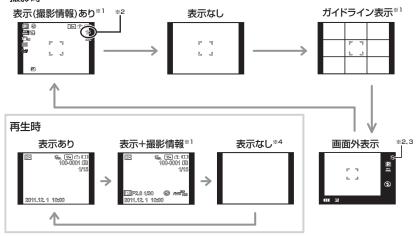
項目	設定･お知らせ
USBモード USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	[接続時に選択]: パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。 [PictBridge(PTP)]: PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 [PC]: パソコンに接続する場合に設定します。
TV画面タイプ テレビの種類に合わせて設定します。	[16:9]: 画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時 ● AV ケーブル(別売)接続時に働きます。
HDMI出力解像度 HDMIミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI出力の映像方式を設定します。	[AUTO]: 接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。 [1080p]: 有効走査線数1080本のプログレッシブ方式で出力します。 [1080i]: 有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。 [720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。 [480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。 ● [AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[1080p]、[1080i]、[720p]または[480p]に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください) ● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。
ビエラリンク 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。	[OFF]: 本機のボタンでの操作になります。 [ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません) 本機のボタンでの操作は制限されます。 ● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 ● 詳しくは、122ページをお読みください。

セットアップメニューの設定方法はP34へ

項目	設定・お知らせ
3D テレビ出力 3D写真の出力方法を設定します。	[3D]: 3D対応テレビに接続する場合に設定します。 [2D]: 3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合も、この設定にしてください。 ●HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 ●3D写真を3Dで再生する方法については、124ページをお読みください。
SCN シーンメニュー モードダイヤルを / / / / /SCNに切り換えたときに表示される画面を設定します。	[OFF]: 現在選択されているアドバンスシーンモードや、シーンモードの撮影画面を表示 [AUTO]:アドバンスシーンモードや、シーンモードの選択画面を表示
メニュー位置メモリー 最後に操作したメニューの位置を記憶します。	[OFF]、[ON]
Ver. バージョン表示	●本体のファームウェアバージョンを確認できます。
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	●フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたは ACアダプター(別売:DMW-AC8)を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。 ●カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ●他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ●カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。 ●フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。
DEMO デモモード [手ブレ補正デモ]や本機の特長を表示します。	**[手ブレ補正デモ]**: カメラが感知した手ブレ量を表示 **[自動デモ]** [OFF] [ON]:本機の特長をスライドショーで表示 ●[手ブレ補正デモ]中に[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り換わります。 ●[手ブレ補正デモ]は目安です。 ●[自動デモ]はテレビ出力されません。 ●[自動デモ]を終了する場合は、[MENU/SET]を押してください。 手ブレ補正デモ / 手ブレ量 / 手ブレ補正 ON / 手ブレ補正 / 終了 DISPLAY / 補正後の手ブレ量

液晶モニター/ファインダーの表示を切り換える

[DISPLAY] を押して切り換える

- メニュー画面表示時は[DISPLAY]は働きません。
  再生ズーム時、動画再生中、スライドショー中は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

※1 セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。

※2 セットアップメニューの[残量表示切換]で記録可能枚数と記録可能時間の表示を切り換えることができます。

※3 残り枚数が1000枚以上を超える場合または動画撮影時間が1000秒を超える場合は、+999と表示されます。

※4 [DISPLAY]を押すと個人認証で登録された人物の名前が表示されます。

お知らせ

- インテリジェントオートモード時は、画面外表示に切り換えることができません。

■ 画面外表示について

撮影画面の外部に撮影情報が表示されますので、露出情報などにより画面を遮られることなく、被写体に集中して撮影することができます。

ズームを使って撮る

使えるモード：iA P A S M CUST 🎥M SCN

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/iAズーム/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。さらに大きく(最大46.9倍)撮るには、各画像横縦比(4:3/3:2/16:9/1:1)で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。

大きく撮るには(望遠)

ズームレバーをT側へ回す

広く撮るには(広角)

ズームレバーをW側へ回す

■ ズーム速度を変える

ズームレバーを回す角度によって、ズーム速度を2 段階で操作することができます。
回す角度が小さいときはズーム速度は遅くなり、大きいときは速くなります。

■ ズーム位置を記憶する(ズーム位置メモリー)

詳しくは 41 ページをお読みください。

■ サイドレバーでズーム操作をする

ファインダーを使用しての撮影時、サイドレバーでズーム操作を行うと、本機を安定して構えることができ手ブレ軽減に効果的です。また撮影テクニックに広がりを持たすことができます。

- サイドレバーでズーム操作を行う場合は、セットアップメニューの[サイドレバー設定]を[ZOOM]に設定してください。(P39)
- ズーム速度を2段階で操作することができます。スライドさせる幅が小さいと遅くなり、大きいと速くなります。
- ズームレバーとサイドレバーは、同時に使うことはできません。

大きく撮るには(望遠)：

サイドレバーを T 側へスライドさせる

広く撮るには(広角)：

サイドレバーを W 側へスライドさせる

ズームを使って撮る（続き）

使えるモード：iA P A S M CUST ▶M SCN

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)
最大倍率	24倍	46.9 倍※
画質	劣化しない	劣化しない
条件	なし	EZ 付きの記録画素数（P84）を選ぶ
画面表示	W T	EZ W T EZを表示

※　記録画素数や画像横縦比により変わります。

種類	iAズーム	デジタルズーム
最大倍率	光学ズームまたはEX光学ズームの約1.3倍	光学ズーム、EX光学ズームまたはiAズームの４倍
画質	ほとんど劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	撮影メニューの[超解像]（P95）を[iA ZOOM]に設定する	撮影メニューの[デジタルズーム]（P95）を[ON]に設定する
画面表示	iA ZOOM W T EZ iA ZOOM W T iA ZOOM を表示	W T EZ W T iA ZOOM W T EZ iA ZOOM W T デジタルズーム領域を表示

● ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。（例：0.3m－∞）

お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。光学ズームより望遠効果の高い写真が撮影できます。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P57)を使って撮影することをお勧めします。
- 以下の場合、iAズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモードの[ブレピタモード]
  - ・連写速度を[40]、[60]に設定時
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ピンホール]
  - ・夜景&人物モードの[手持ち夜景]
  - ・シーンモードの[高感度]、[フラッシュ連写]、[スライド3D撮影]
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモードの[ブレピタモード]
  - ・連写速度を[40]、[60]に設定時
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ピンホール]
  - ・シーンモードの[高感度]、[フラッシュ連写]、[フォトフレーム]、[ハイスピード動画]、[スライド3D撮影]
  - ・動画撮影時
  - ・[クオリティ]の[RAW]、[RAW]、[RAW]設定時
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・連写速度を[40]、[60]に設定時
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ピンホール]、[サンドブラスト]、[ジオラマ]
  - ・夜景&人物モードの[手持ち夜景]
  - ・シーンモードの[高感度]、[フラッシュ連写]、[フォトフレーム]、[ハイスピード動画]、[スライド3D撮影]
  - ・[クオリティ]の[RAW]、[RAW]、[RAW]設定時

撮影

フラッシュを使って撮る

使えるモード：iA P A S M CUST SCN

- 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュが閉じているときは、[⊗]に固定されます。

お知らせ

- **フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。**

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

- フラッシュを開く。

1 撮影メニューから[フラッシュ]を選ぶ(P34)

2 ▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す

- 設定後はメニューを終了してください。

項目	設定内容
⚡A: オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎: 赤目軽減オート※	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のを抑えるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
⚡: 強制発光 ⚡◎: 赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
⚡S◎: 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象を抑えます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊗: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※ **フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また、発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。**
撮影メニューの[デジタル赤目補正](P97)を[ON]に設定すると、アイコンに[ ]が表示されます。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(○：設定可、×：設定不可、◎:アドバンスシーンモード、シーンモード初期設定)

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	Ⓧ
iA	○※1	×	×	×	×	○
P	○	○	○	×	○	○
A	○	○	○	×	○	○
S	○	○	○	×	×	○
M	○	○	○	×	×	○
M	×	×	×	×	×	○
※2	×	×	×	×	×	○
※3	×	×	×	×	○	○
※4	○	×	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	◎	○	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	Ⓧ
	×	×	×	×	◎	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	○	◎	○
	×	×	×	◎	○	○
1	○	◎	○	×	×	○
2	○	◎	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	◎	×	×	×
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	○	○	×	×	○
HS	×	×	×	×	×	◎
3D	×	×	×	×	×	◎

※1 [i⚡A]と表示されます。
※2 [ポップ]、[レトロ]、[ハイキー]、[セピア]、[ジオラマ]
※3 [ハイダイナミック]
※4 [ピンホール]、[サンドブラスト]

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。アドバンスシーンモードまたはシーンモードを変更すると、アドバンスシーンモードまたはシーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

フラッシュを使って撮る（続き）

使えるモード：[iA][P][A][S][M][CUST][SCN]

■ フラッシュ撮影可能範囲

	W端時	T端時
ISO感度[AUTO]設定時	約30 cm～約9.5 m ※1	約1.0 m～約5.1 m ※1

※1 [ISO感度上限設定]（P86）を[AUTO]に設定時。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/60 ※2～1/2000秒
⚡A◎	
⚡ ⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S◎	1 ※2～1/2000秒
(発光禁止)	

※2 [下限シャッター速度]設定によって変わります。

- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- アドバンスシーンモード、シーンモードでは、シャッタースピードが上記と異なります。

お知らせ

- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減オートなどの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンモードの[フラッシュ連写]やシャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- **レンズフードが付いた状態でフラッシュ撮影すると、フラッシュの光がフードに遮られることがあります。**
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- [コンバージョン]（P98）を[ ]または[ ]に設定しているときは、フラッシュは[ ]に固定されます。

フラッシュの発光量を調整する

被写体が小さい、反射率が極端に高い、または低いときは、フラッシュの発光量を調整してください。

▲( )を数回押し、[フラッシュ発光量調整]を表示させ、◀/▶でフラッシュの発光量を設定する

- −2 EV から +2 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、"0 EV"を選んでください。

2 [MENU/SET] を押して終了する

お知らせ

- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面左上にフラッシュ発光量調整値が表示されます。
- 設定したフラッシュ発光量は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 以下の場合、[フラッシュ発光量調整] は設定できません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ポップ]、[レトロ]、[ハイキー]、[セピア]、[ジオラマ]
  - ・風景モード
  - ・夜景&人物モードの[夜景]、[手持ち夜景]、[イルミネーション]
  - ・シーンモードの [パノラマアシスト]、[夕焼け]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[空撮]、[ハイスピード動画]、[スライド3D撮影]
  - ・クリエイティブ動画モード

撮影

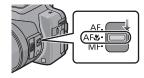
近づいて撮る（AFマクロ撮影）

使えるモード：P A S M CUST SCN

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから1 cmまで接近して撮影できます。

フォーカス切換スイッチを[AF🌷]に合わせる

- AFマクロ撮影時は[AF🌷]が表示されます。

お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[⚡]にする（フラッシュを閉じる）ことをお勧めします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- AFマクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい、被写体にピントが合わない場合がありますので、お気をつけください。
- 以下の場合、AFマクロに設定できません。
  ・[スライド3D撮影]を除くシーンモード
  ・クリエイティブコントロールモードの[ハイダイナミック]、[ピンホール]、[サンドブラスト]

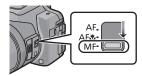
手動でピントを合わせて撮る（MF: マニュアルフォーカス）

使えるモード：iA P A S M CUST M SCN

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 セットアップメニューの[サイドレバー設定]を[FOCUS]に設定する(P34)

2 フォーカス切換スイッチを[MF]に合わせる

- マニュアルフォーカス撮影時は左上に[MF]が表示されます。

3 サイドレバーをスライドさせて、フォーカス距離表示を表示させる

- 後ダイヤルを押して、画面右下の[MF]を選び、後ダイヤルを回してもフォーカス距離表示を表示させることができます。

4 サイドレバーをスライドさせてピントを合わせる

サイドレバー(T)： 遠くへ
サイドレバー(W)：近くへ

- ◄/► または後ダイヤルを回してピントを合わせることもできます。
- 微調整する場合は、カーソルボタンで調整することをお勧めします。
- ピント調整の操作をやめると、数秒後にフォーカス距離表示は消えます。

撮影

手動でピントを合わせて撮る（MF: マニュアルフォーカス）（続き）

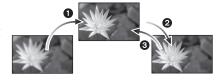
使えるモード：iA P A S M CUST 動画M SCN

■ MF アシストについて

セットアップメニューの［MFアシスト］（P42）を［ON］に設定すると、ピント合わせのときに MF エリア（ピントを合わせる位置）が拡大表示されます。

- MFアシスト表示中に［MENU/SET］を押すと、▲/▼/◀/▶ でMFエリアを移動させることができます。もう一度、［MENU/SET］を押すと MF アシストに戻ります。
- MFアシストまたはMFエリアの移動中に後ダイヤルを押すと、拡大エリアの倍率が変更できます。
- 以下の操作を行うと、MFエリアは中央に戻ります。
  - ・［記録画素数］、［画像横縦比］を変更したとき
  - ・電源スイッチを［OFF］にしたとき

マニュアルフォーカスのテクニック

❶ サイドレバーをスライドまたは後ダイヤルを回して、ピントを合わせる
❷ さらに同じ方向にカーソルボタンを数回押す
❸ カーソルボタンを逆方向に押して微調整する

■ 置きピン

流し撮りなどオートフォーカスではピントが合いにくい、動きの速い被写体を撮影する場合に、あらかじめ被写体を撮影するポイントに、マニュアルフォーカスを使ってピントを合わせておくテクニックです。運動会でゴールしてくる子供、結婚式での新郎新婦など、被写体との距離が決まっている場合の撮影に最適です。

■ ワンショットAF

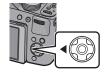
マニュアルフォーカス時に、［FOCUS］を押すと、オートフォーカスでピントを合わせることができます。置きピンをするときなどに便利です。

お知らせ

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- デジタルズーム領域または動画撮影中はMFアシストは表示されません。
- マニュアルフォーカスの距離表示は、ピント位置の目安です。ピントの確認は、画面（アシスト画面）で行ってください。
- スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- AE ロックを併用すると、ピントの確認を行いやすくなります。

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード：iA P A S M CUST SCN

1 ◄(セルフタイマー)を押す

2 ▲/▼で時間を選び、[MENU/SET]を押す

項目	内容
[OFF]	―
[2秒]	2秒後に撮影します。 ●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
[10秒]	10秒後に撮影します。
[10秒/3枚]	10 秒後に約2秒間隔で 3 枚撮影します。

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- [10 秒/3 枚]選択時は、1枚目および2枚目撮影後にセルフタイマーランプが再度点滅し、2秒後に撮影動作を開始します。

お知らせ

- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。
- [10秒/3枚]設定時、撮影状況によっては撮影間隔が2秒以上になることがあります。
- 以下の場合、[10秒/3枚]に設定できません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・オートブラケット設定時
  - ・ホワイトバランスブラケット設定時
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[フラッシュ連写]、[フォトフレーム]
  - ・連写撮影時
- 以下の場合、セルフタイマーの設定はできません。
  - ・シーンモードの[スライド 3D撮影]
  - ・動画撮影時

撮影

露出を補正して撮る

使えるモード：
被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー

1 ▲( )を押して[露出補正]を表示させる

2 ◀/▶で露出を補正し、[MENU/SET]を押す

- 露出補正値は、画面に表示されます。
- 露出を補正しない場合は、“0 EV”を選んでください。

■ 後ダイヤルで操作する

1 後ダイヤルを押して[ ]を有効にする

2 後ダイヤルを回して露出を補正する

お知らせ

- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの[星空]時は、露出補正は使えません。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

使えるモード：iA P A S M CUST 🎥M SCN

1回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に3枚撮影します。

オートブラケット±1EVの場合

1枚目	2枚目	3枚目
±0EV	−1EV	＋1EV

1 ▲( )を数回押して[オートブラケット]を表示させる

2 ◀/▶で露出の補正幅を設定し、[MENU/SET]を押す

- オートブラケット撮影をしない場合は、“0”（OFF）を選んでください。

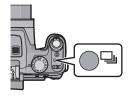
お知らせ

- オートブラケットを設定すると、画面に[ ]が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- シャッター優先AEまたはマニュアル露出時は、シャッタースピードが1秒より長くなると、オートブラケットが無効になります。
- **オートブラケットを設定すると、フラッシュは[ ]になります。**
- 以下の場合、オートブラケットの使用はできません。
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ピンホール]、[サンドブラスト]、[ジオラマ]
  - ・夜景&人物モードの[手持ち夜景]
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[フラッシュ連写]、[星空]、[フォトフレーム]、[ハイスピード動画]、[スライド3D撮影]
  - ・動画撮影時

連写する

使えるモード：iA P A S M CUST SCN

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
連写速度を撮影状況や被写体に合わせて選択できます。

1 [▭] を押す

2 ◀/▶ で連写速度を選び、[MENU/SET] を押す

- [DISPLAY] を押すと各連写速度に適した撮影状況の説明が表示されます。

連写速度		特徴	最大連写コマ数
[2]	2コマ/秒	● [2]、[5.5] 設定時、ピントは1コマ目に固定されます。 ● [2AF]、[5.5AF] 設定時、ピントは撮影ごとに調整されます。 ● 露出、ホワイトバランスは撮影ごとに調整されます。	100 コマ
[2AF]			
[5.5]	5.5コマ/秒		
[5.5AF]			
[12]	12コマ/秒	● ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目に固定されます。	12 コマ※
[40]	40コマ/秒	● ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目に固定されます。 ● 連写撮影された画像はひとつの連写グループとして、まとめて記録されます。 ● [60] 設定時は撮影できる範囲が狭くなります。	50 コマ
[60]	60コマ/秒		60 コマ

※ [クオリティ] を [RAW+▪]、[RAW+▪]、[RAW] に設定した場合は、最大連写コマ数は11コマになります。

- [40]、[60] 設定時、選択できる記録画素数は以下に制限されます。

画像横縦比	[40]	[60]
[4:3]	[5M]、[3M]、[2M]、[0.3M]	[2.5M]、[0.3M]
[3:2]	[4.5M]、[2.5M]、[0.3M]	[3M]、[0.3M]
[16:9]	[3.5M]、[2M]、[0.2M]	[3.5M]、[0.2M]
[1:1]	[3.5M]、[2.5M]、[0.2M]	[2M]、[0.2M]

お知らせ

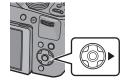
- [2AF]、[5.5AF]設定時は、連写速度を優先するため、可能な範囲でのピント予測を行います。そのため、高速で動く被写体を追いながら撮影した場合、ピントが合いにくかったり、またピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- インテリジェントオートモード時は、[2]、[2AF]、[5.5]、[5.5AF]、[12] のみ選択できます。
- 以下の場合、[40]、[60]は使えません。
  - ・夜景&人物モードの[夜景&人物]、[夜景]、[イルミネーション]
  - ・シーンモードの[高感度]
- [40]、[60]選択時、[クオリティ]は[ ]、[ ]のみ設定できます。
- [12]、[40]、[60]設定時は、被写体の明るさの変化によっては、2枚目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- [40]、[60]選択時は、電子シャッターでの撮影になるため、撮影された画像にゆがみが生じる場合があります。
- セルフタイマー使用時の連写コマ数は、3コマに固定されます。
- 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度(コマ/秒)が遅くなる場合があります。
- 連写設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- **連写を設定すると、フラッシュは[ ]になります。**
- 以下の場合、連写はできません。
  - ・セルフタイマーの[10秒/3枚]設定時
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ピンホール]、[ジオラマ]
  - ・夜景&人物モードの[手持ち夜景]
  - ・シーンモードの [パノラマアシスト]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[フォトフレーム]、[ハイスピード動画]、[スライド 3D 撮影]
- AFロック時は、[2AF]、[5.5AF]設定で撮影しても、撮影ごとのピントは調整されません。
- 連写撮影中、ズーム操作はできません。

撮影

ISO感度を設定する

使えるモード：iA P A S M CUST 🎥M SCN

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 ▶(ISO)を押す

2 ▲/▼でISO感度を選び、[MENU/SET]を押して決定する

ISO感度	設定内容
AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ●最大[ISO800] ※
iISO(インテリジェント)	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。 ●最大[ISO1600] (フラッシュ使用時[ISO800])※
100/200/400/800/1600/3200	それぞれのISO感度に固定します。 (撮影メニューの[ISO感度ステップ](P86)を[1/3 EV]に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します)

※撮影メニューの[ISO感度上限設定](P86)を[AUTO]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。

	[ISO100]	[ISO3200]
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

■ iISO（インテリジェントISO感度コントロール）について

被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。

お知らせ

- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、52ページをお読みください。
- クリエイティブコントロールモード時は、[AUTO] に固定されます。
- クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。
  [AUTO]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]
- 人物モードの [屋内人物]、スポーツモード、シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、［ペット］、[フラッシュ連写]では[iISO]に固定されます。
- シャッター優先AEモード時、[iISO] は選択できません。
- マニュアル露出モード時、[AUTO]または[iISO]は選択できません。

撮影

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

A：絞り優先AEモード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを[A]に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。

設定可能な絞り値(W 端)(1/3 EV ごと)	本機で設定されるシャッタースピード(秒)
F2.8 ～ F8.0	8 ～ 1/2000

- ズーム位置によっては、選べない絞り値があります。

S：シャッター優先AEモード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

設定可能なシャッタースピード(秒)(1/3 EV ごと)	本機で設定される絞り値(W 端)
8 ～ 1/2000	F2.8 ～ F8.0

M：マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

モードダイヤルを[M]に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。

設定可能な絞り値(W 端)(1/3 EV ごと)	設定可能なシャッタースピード(秒)(1/3 EV ごと)
F2.8 ～ F8.0	15 ～ 1/2000

- ズーム位置によっては、選べない絞り値があります。

■ マニュアル露出アシストについて

-2 -1 0 +1 +2	適正露出になります。
-2 -1 0 +1 +2	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-2 -1 0 +1 +2	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

お知らせ

- 液晶モニター/ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞り優先AEのとき、明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- 明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- シャッタースピードを遅く設定したときは、シャッターボタンを全押しすると、シャッタースピードの表示がカウントダウンします。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをお勧めします。
- ISO感度が[ISO]のときに、撮影モードをシャッター優先AEに切り換えると、ISO感度は[AUTO]になります。
- ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、撮影モードをマニュアル露出に切り換えると、ISO感度は[ISO100]になります。

画質効果を変えて撮る（🎨：クリエイティブコントロールモード）

被写体を画面上で手軽に確認しながら、お好みの効果を設定して撮影することができます。

1 モードダイヤルを[🎨]に合わせる

2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

項目	効果
ポップ	色を強調したポップアート風の画像効果です。
レトロ	色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。
ハイキー	全体的に明るい雰囲気となる画像効果です。
セピア	セピア色の画像効果です。
ハイダイナミック	暗いところから明るいところまで適度な明るさで描き出し、色を強調した印象的な画像効果です。
ピンホール	被写体の周辺を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。
サンドブラスト	砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。
ジオラマ	周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。

お知らせ

- クリエイティブコントロールモードを変更したい場合は、[MENU/SET] を押したあと、上記手順**2**に戻ります。
- クリエイティブコントロールの設定は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。

[ジオラマ]の設定を調整する

指定した範囲の上下または左右をぼかすことで、模型を撮影したような効果を描き出します。

1 P66の手順2で[ジオラマ]を選び、[MENU/SET] を押す

2 ▼を押して、設定画面を表示する

●ぼかさない範囲を調整する枠が表示されます。

3 枠の位置と大きさを調整し、[MENU/SET]を押して決定する

	枠が横向きのとき	枠が縦向きのとき
▲/▼	移動(上下)	横向きに切り換え
◀/▶	縦向きに切り換え	移動(左右)
(ダイヤル)	拡大、縮小 ●3段階で切り換えることができます。	

●[DISPLAY] を押すと調整した枠が初期設定の状態に戻ります。

枠が横向きのとき

ぼかさない範囲

枠が縦向きのとき

ぼかさない範囲

撮影

お知らせ

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 動画に音声は記録されません。
- 動画は約1/10の時間で記録されます。(10分間撮影した場合、動画記録時間は約1分になります)表示される記録可能時間は約10倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
- 大きい記録画素数に設定して写真撮影した場合、撮影後に画面が一定時間暗くなりますが、信号処理のためで異常ではありません。

人物や風景を表情豊かに撮る（アドバンスシーンモード）

人物、風景、スポーツ、夜景&人物、花などの被写体では、撮影状況に合わせてより効果的な撮影ができます。

1 モードダイヤルを合わせる

2 ▲/▼ でアドバンスシーンモードを選ぶ

- [DISPLAY]を押すと、選択されているアドバンスシーンモードの説明が表示されます。

（例） 選択時

3 [MENU/SET] を押して決定する

お知らせ
- アドバンスシーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET] を押したあと、上記手順**2**に戻ります。

人物モード

人物を引き立て、肌色を健康的に出します。

人物(標準)	屋外人物
美肌	屋内人物

撮影のテクニック
- ズームの位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

お知らせ
- [屋内人物]では、シャッタースピードは最大1秒になります。
- [美肌]では背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。また、明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

風景モード

広がりのある風景を撮影できます。

風景(標準)	建物
自然	

スポーツモード

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときなどに合わせてください。

スポーツ(標準)	屋内スポーツ
屋外スポーツ	

お知らせ
- 5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。
- シャッタースピードは最大1秒になります。

クローズアップモード

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。

花	コレクション
料理	

お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[ ]にすることをお勧めします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- クローズアップモード撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合がありますのでお気をつけください。

夜景&人物モード

人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。

夜景 & 人物	手持ち夜景
夜景	イルミネーション

■ 手持ち夜景について

夜景を高速連写で撮影し、1 枚の画像に合成します。手持ちの撮影でも手ブレやノイズが軽減されます。

- 連写中は本機を動かさないでください。
- 暗い場面で撮影したり、動いている被写体を撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

お知らせ

[夜景&人物]、[夜景]、[イルミネーション]で撮影する場合は

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- シャッタースピードは最大8秒になります。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを［SCN］に合わせる

2 ▲/▼/◀/▶ でシーンモードを選び、[MENU/SET] を押す

- [DISPLAY]を押すと、選択されているシーンモードの説明が表示されます。
- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

お知らせ

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押したあとに▶を押して、上記手順**2**に戻ります。

項目	設定・お知らせ
パノラマアシスト パノラマ画像を作るのに適したつながりのある画像を撮影できます。	**撮影する方向の設定** **1 ▲/▼ で撮影する方向を選び、[MENU/SET] を押す** ●水平 / 垂直ガイドが表示されます。 **2 撮影する** ●[撮り直し] を選ぶと、撮影をやり直すことができます。 **3 ▲で[次の撮影]を選び、[MENU/SET] を押す** ●撮影した画像の一部が透過画像として表示されます。 **4 透過画像が重なるように構図を水平、または垂直に移動して撮影する** ●3枚目以降を撮影するときは、手順**3**、**4** を繰り返してください。 **5 ▲/▼で[完了]を選び、[MENU/SET]を押す** ●ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。 ●三脚の使用をお勧めします。暗いときは、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ●シャッタースピードは最大8秒になります。 ●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ●撮影した画像はCD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパノラマ画像に合成することができます。

項目	設定・お知らせ
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** **●フラッシュを開いてください。([ ]または[ ]に設定できます)** ●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ●ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをお勧めします。
キャンドル ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。	**撮影のテクニック** ●フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。 ●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ●シャッタースピードは最大1秒になります。
赤ちゃん1/ 赤ちゃん2 赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。 [赤ちゃん1]と[赤ちゃん 2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P110)で撮影画像に焼き込むことができます。	**誕生日/名前を設定する** **1 ▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、▶を押す** **2 ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す** **3 誕生日/名前を入力する** 誕生日: ◀/▶:項目(年・月・日)選択 ▲/▼:設定 [MENU/SET]:決定 名前: 文字入力の方法については82ページの「文字を入力する」をお読みください。 ●誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。 ●誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。 **4 [MENU/SET]を押して終了する** **月齢 / 年齢や名前の表示を解除する** 手順**2**で[OFF]に設定する。 **●動画撮影中に記録した写真には、月齢/年齢や名前は記録されません。** ●CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/ 年齢や名前をプリントすることができます。 ●誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。 ●シャッタースピードは最大1秒になります。

撮影

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（続き）

項目	設定・お知らせ
ペット 犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。	[月齢/年齢]、[名前]については、71 ページの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	—
高感度 薄暗い室内で被写体のブレを抑えて撮影できます。	**記録画素数・画像横縦比設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。
フラッシュ連写 フラッシュ発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。	**記録画素数・画像横縦比設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 ● シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。 連写コマ数：最大５コマ ● ピント・ズーム・露出・シャッタースピード・ISO感度・フラッシュ発光量は、1コマ目の設定に固定されます。 ● セルフタイマー使用時、撮影コマ数は５コマに固定されます。

項目	設定・お知らせ
流し撮り ランナーや車のように、一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて本機を振りながら撮影すると、被写体の背景が流れて写ります。この効果を「流し撮り」といいます。このモードに合わせると、流し撮りの効果を得やすくなります。	**シャッタースピード設定** [オート]または[シャッター優先]から選択します。 ● [オート]を選ぶと、シャッタースピードの設定はできません。 ● [シャッター優先]を選ぶと、後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。 **撮影のテクニック** ● 本機だけで追わずに、体を正面に向け、脇を締め、腰をひねりながら体全体を使って被写体を追いかけてください。 ● 被写体が正面に来たときにシャッターボタンを押してください。シャッターボタンを押すときにも本機の振りを止めないようにしてください。 ❶ ファインダーで被写体をとらえ続けるように本機を動かす ❷ 動かしながらシャッターボタンを押す ❸ 途中で止めずにそのまま本機を動かし続ける ● 以下のことにもお気をつけください。 ・ファインダーを使う ・動きの速い被写体を選ぶ ・置きピンを使う ・連写と合わせて撮影する(あとでよい画像を選択) ● 背景を流れやすくするため、シャッタースピードが遅くなります。このため、手ブレが起こりやすくなります。
星空 星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。	**シャッタースピード設定** シャッタースピードを15秒、30秒から選択します。 ● シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。 **撮影のテクニック** ● 15秒、30秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ● あらかじめピントの合いやすい被写体(例えば、明るい星や遠くの明かり)を利用した、置きピン撮影(P56)することをお勧めします。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（続き）

項目	設定・お知らせ
花火 夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。	**撮影のテクニック** 打ち上げ花火のシャッターチャンスを逃さないために、次の手順で置きピン撮影することをお勧めします。 ❶ 花火が上がるのと同じくらいの距離にある、遠くの明かりなどにカメラを向ける ❷ フォーカス表示が点灯するまで、シャッターボタンを半押しする ❸ マニュアルフォーカスに設定する（P55） ❹ 花火が打ち上げられる方向に本機を向けて待機する ❺ 花火が打ち上げられたら、シャッターボタンを全押しして撮影する ● ズーム操作をした場合は、フォーカス位置がずれるので、❷～❺の操作をやり直してください。 ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をお勧めします。 ● 被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。 ● シャッタースピードは 1/4秒または2秒に固定されます。 ● 露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。
ビーチ 海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。	● ぬれた手で触らないでください。
雪 スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。	—
空撮 飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。	**撮影のテクニック** ● 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをお勧めします。
フォトフレーム 画像にフレームをつけて撮影します。	**フレームの設定** 3 種類のフレームから選択します。 ● 記録画素数は2M(4:3)に固定されます。 ● 画面に表示されるフレームの色と、実際に撮影される画像のフレームの色は異なりますが、故障ではありません。

項目	設定・お知らせ
ハイスピード動画 220 コマ/秒で記録し、肉眼ではとらえられない、素早い動きの動画を撮影できます。	**1 動画ボタンを押して撮影を開始する** ●動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。 **2 もう一度、動画ボタンを押して撮影を終了する** **●内蔵メモリーには記録できません。** ●Motion JPEG 形式で記録されます。パソコンで再生する場合はCD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。 ●音声は記録されません。 ●動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。 ●ピント、ズーム、露出、ホワイトバランスは撮影開始時に固定されます。 ●蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。
3D スライド3D撮影 カメラを水平に動かしている間に連続撮影をして、自動で2枚を選んで合成します。 3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。 （本機では2Dで再生されます） 再生方法について、詳しくは124ページをお読みください。	**撮影のテクニック** 撮影を開始し、本機を左から右へまっすぐ水平にスライドする ●撮影中はガイドが表示されます。 ●ガイドを目安にして約4秒間で10 cm程度カメラをスライドしてください。 **3D写真撮影に失敗しないために** ●動きのない被写体を撮影する ●屋外などの明るい場所で撮影する ●シャッターボタンを半押しして、ピント・露出を固定してから、シャッターボタンを全押ししてカメラをスライドする ●被写体を中心よりやや右寄りに合わせて撮影を始めると、被写体が中心に寄りやすくなります **●3D写真の縦撮影には対応していません。** ●3D写真はMPO形式（3D）で保存されます。 ●ズーム位置はW端に固定されます。 ●記録画素数は2M（16:9）に固定されます。 ●[ISO感度]は自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。 ●3D撮影時は動画撮影できません。 ●以下の場合など、撮影状況によっては撮影できない場合があります。また撮影できても、写真に立体効果が得られなかったり、ゆがみが生じたりする場合があります。 ・被写体が暗すぎる/明るすぎる ・被写体の明るさが変わる ・被写体が動いている ・濃淡の少ないもの

マニュアル操作で動画を撮る（🎥M：クリエイティブ動画モード）

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影することができます。
[動画露出設定]を切り換えることで、モードダイヤルを[P]、[A]、[S]、[M]に切り換えたときのような設定を使用することができます。

1 モードダイヤルを[🎥M]に合わせる

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

3 後ダイヤルを回して設定を変更する

● 後ダイヤルを押すごとに、設定する項目が切り換わります。

■ 動画露出設定別の絞り値・シャッタースピード設定

動画露出設定	設定可能項目	
P（プログラム AE モード）	―	露出補正
A（絞り優先 AE モード）	絞り値 F2.8 ～ F11（W端） F5.2 ～ F11（T端）	露出補正
S（シャッター優先 AE モード）	シャッタースピード 1/30～1/20000秒※1	露出補正
M（マニュアル露出モード）	シャッタースピード 1/30～1/20000秒※1 （マニュアルフォーカス時は1/8～1/20000秒まで設定できます※2）	絞り値 F2.8 ～ F11（W端） F5.2 ～ F11（T端）

※1 [撮影モード] を [AVCHD] 設定時に、シャッタースピードを 1/60 秒より遅く設定して撮影した場合、1 コマ当たりの露光時間が長くなるため被写体の動きによってはコマが飛んで見えることがあります。
※2 シャッタースピードを1/30秒より遅く設定して撮影して、撮影中にマニュアルフォーカス以外に設定すると、シャッタースピードは自動的に1/30秒に設定されます。

お知らせ

- 絞り値、シャッタースピード、露出補正は動画撮影中でも設定の変更をすることができます。
  この場合、動作音が記録されることがありますのでお気をつけください。
- 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
- 蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- その他の動画撮影時の設定や操作方法については、27ページの「動画を撮る」をお読みください。

カスタムモードで撮る（CUST：カスタムモード）

撮影状況などに合わせて、[カスタムセット登録]で保存した登録パターン（カスタムセット）を選択することができます。

お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録）

1 保存したい状態のモードダイヤルに合わせ、本機でメニュー設定をする

2 セットアップメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ（P34）

3 ▲/▼で登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。
- 登録後は、[C1]、[C2]、[C3]それぞれに登録したカスタムセットを使うことができます。よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。

■ 登録したメニュー設定で撮る

1 モードダイヤルを[CUST]に合わせる

2 ▲/▼で使いたいカスタムセットを選ぶ

- [DISPLAY]を押すと、メニューの設定内容が表示されます。（◀/▶で画面が切り換わります。もう一度[DISPLAY]を押すと選択画面に戻ります）

表示される主なメニュー項目					
MODE	撮影モード		個人認証		デジタル赤目補正
	フォトスタイル	AF	オートフォーカスモード		コンバージョン
	画像横縦比	AF-L AE-L	AF/AE ロック切換		露出補正
	記録画素数		測光モード	MF	レンズ位置メモリー
	クオリティ	iD	iDレンジコントロール	Fn	Fn（ファンクション） ボタン設定
ISO	ISO 感度	I.R	超解像	※	撮影モード（動画）
ISO	ISO 感度上限設定	AF	AF 補助光	※	画質設定
WB	ホワイトバランス				

※　クリエイティブ動画モード登録時のみ表示されます。

3 [MENU/SET]を押して決定する

- 選択されているカスタムセット表示が画面に表示されます。

お知らせ

- 登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの[カスタムセット登録]（P38）で登録内容を上書きしてください。
- 一部のメニュー項目は他の撮影モードに反映されるため、保存されません。
- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

個人認証機能を使って撮る

使えるモード：[iA][P][A][S][M][CUST][SCN]

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

お買い上げ時、[個人認証] は [OFF] に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に [ON] になります。

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

撮影時

・カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※
（名前を設定している場合）

・撮影回数の多い顔をカメラが記憶し、自動的に登録画面を表示
（[自動登録]を[ON]に設定している場合）

再生時

・名前や月齢/年齢の表示（情報を登録している場合）

・登録人物から選んだ人物の画像のみを再生（[カテゴリー再生]）

※名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

お知らせ

- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- 個人認証は、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- **個人認証情報を変更した場合（P80）でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え]（P118）を行ってください。
- 以下の場合、[個人認証]は使用できません。
・[オートフォーカスモード]の[顔]に設定できない撮影モード
・シーンモードの[フラッシュ連写]、[スライド3D撮影]
・マニュアルフォーカス時
・動画撮影時

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど（1登録につき最大3枚）、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。（P80）
- 撮影するその場で追加して登録する。
- [感度]の設定を変更する。（P81）
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

1 撮影メニューから[個人認証]を選び、▶ を押す（P34）

2 ▲/▼ で[登録]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼/◀/▶ で未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET]を押す

4 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- [DISPLAY]を押すと、顔登録撮影の説明が表示されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

撮影

個人認証機能を使って撮る（続き）

使えるモード：iA P A S M CUST SCN

5 ▲/▼で編集項目を選び、▶を押す

●顔画像は3枚まで登録できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>名前</td><td colspan="2">名前を設定します。
1 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す
2 名前を入力する
●文字入力の方法については、82ページの「文字を入力する」をお読みください。</td></tr>
<tr><td>月齢/年齢</td><td colspan="2">誕生日を設定します。
1 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ◀/▶で項目（年・月・日）を選んで▲/▼で設定し、[MENU/SET]を押す</td></tr>
<tr><td>フォーカスアイコン</td><td colspan="2">ピントが合うときに表示されるフォーカスアイコンを変更します。
▲/▼でフォーカスアイコンを選び、[MENU/SET]を押す</td></tr>
<tr><td rowspan="2">追加登録</td><td>追加登録</td><td>顔画像を追加登録します。
1 未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET]を押す
2 「顔画像を登録する」の手順4を行う</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>顔画像を1枚消去します。
◀/▶で解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]を押す
●画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。</td></tr>
</table>

●設定後はメニューを終了してください。

登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

1 撮影メニューから[個人認証]を選び、▶を押す（P34）

2 ▼で[登録]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼/◀/▶で編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 **「顔画像を登録する」の手順5を行う**
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 **▲/▼/◀/▶で登録順を選び、[MENU/SET]を押す**
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。

●設定後はメニューを終了してください。

自動登録/感度を設定する

個人認証の自動登録や感度の設定ができます。

1 撮影メニューから[個人認証]を選び、▶ を押す(P34)

2 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼ で項目を選び、▶ を押す

自動登録	[OFF]/[ON] ● [自動登録]を[ON]に設定すると自動的に[個人認証]が[ON]になります。
感度	[高]/[標準]/[低] ● 認証されにくいときは[高]を選んでください。認証されやすくなりますが、異なる人物を認証する可能性も高くなります。 ● 異なる人物を認証することが多いときは[低]を選んでください。 ● 設定を元に戻したいときは、[標準]を選んでください。

● 設定後はメニューを終了してください。

自動登録について

[自動登録]を[ON]に設定すると、撮影回数の多い顔に対して、撮影後、自動的に登録画面が表示されるようになります。登録画面が表示される目安は3回です。

1 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

● 登録している人物が1人もいない場合は、手順**3**へ進んでください。

● [いいえ]を選ぶと再度選択画面が表示されます。▲で[はい]を選ぶと、[自動登録]が[OFF]に設定されます。

2 ▲/▼で[新規登録]または[顔画像追加登録]を選び、[MENU/SET]を押す

新規登録	● すでに6人登録されているときは、登録人物の一覧が表示されます。入れ換える人物を選んでください。
顔画像追加登録	登録済みの人物に顔画像を追加登録します。 **▲/▼/◀/▶ で追加登録する人物を選び、[MENU/SET]を押す** ● すでに顔画像が3枚登録されている場合は、画像入れ換えの画面が表示されます。入れ換える顔画像を選んでください。

● 顔画像の追加登録や入れ換えを行ったあとは、自動的に撮影画面に戻ります。

3 「顔画像を登録する」の手順5 を行う

お知らせ

● 登録画面がなかなか表示されない場合は、同じ環境や表情で撮影すると表示されやすくなります。

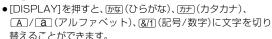
● 自動登録だけで認証されにくい場合は、再度登録し直してください。

文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。
（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）

1 入力画面を表示し、▼を押して文字選択部分に移動する

- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[名前]
  - ・[個人認証]の[名前]
  - ・[トラベル日付]の [旅行先]
  - ・[タイトル入力]

2 ▲/▼/◀/▶で文字を選び、[MENU/SET]で入力する

- [DISPLAY]を押すと、かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、&/1(記号/数字)に文字を切り替えることができます。
- 入力位置のカーソルは、ズームレバーまたは後ダイヤルで左右に移動できます。
- 空白を入れたいときは[スペース]、入力した文字を消去したいときは[消去]、文字入力の途中で編集を中止したいときは[中止]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押してください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・かな/カナ:　最大15文字 ([個人認証]の名前設定時は最大6文字)
  - ・A/a/&/1※:　最大30文字 ([個人認証]の名前設定時は最大9文字)

  ※ [＼]、[「]、[」]、[·]、[—]、[歳]、[カ]、[月]、[日]は最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字) です。

3 ▲/▼/◀/▶で[決定]を選び、[MENU/SET]を押して入力を終了する

文字入力例
「パリ」と入力する場合:
❶ [DISPLAY]を押し、カナに切り替える
❷ ▼で文字選択部分に移動し、◀/▶で「ハ」にカーソルを合わせる
❸ ▼で下の段に移動し、◀/▶で「ハ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す
❹ ◀/▶で「゜ 」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押し、「パ」にする
❺ ▲を押して上の段に戻り、◀/▶で「ラ」にカーソルを合わせる
❻ ▼で下の段に移動し、◀/▶で「リ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- [タイトル]、[旅行先]、[名前] (赤ちゃん/ペット)、[名前] (個人認証)の優先順位で表示されます。

撮影メニューを使う

フォトスタイル

使えるモード: iA P A S M CUST 🎥M SCN

撮影したいイメージに合わせて、6種類の効果を選択することができます。お好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

STD.[スタンダード]	標準的な設定
VIVD[ヴィヴィッド]	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT[ナチュラル]	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO[モノクローム]	色味を抜いた単色の効果
SCNY[風景]	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT[人物]	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST[カスタム]	あらかじめ登録している設定を使用

■ 画質調整する

1 ◀/▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ

2 ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で調整する

項目		効果
コントラスト	＋	画像の明暗差を大きくします。
	−	画像の明暗差を小さくします。
S シャープネス	＋	画像の輪郭を強調します。
	−	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	＋	派手で鮮やかな色になります。
	−	落ち着いた色になります。
NR ノイズリダクション	＋	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	−	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

- 登録した内容は電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[＋]が表示されます。
- [モノクローム]選択時は[彩度]で色調を変更できます。

3 ▼ で [カスタム 登録] を選び、[MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 設定を[カスタム]に登録できます。

撮影メニューを使う（続き）

画像横縦比

使えるモード：iA P A S M CUST SCN

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

お知らせ

- プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P154)

記録画素数

使えるモード：iA P A S M CUST SCN

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

画像横縦比：[4:3]のとき

[12M]	4000×3000
[8M EZ] ※	3264×2448
[5M EZ]	2560×1920
[3M EZ] ※	2048×1536
[2M EZ] ※	1600×1200
[0.3M EZ]	640×480

画像横縦比：[3:2]のとき

[10.5M]	4000×2672
[7M EZ] ※	3264×2176
[4.5M EZ] ※	2560×1712
[2.5M EZ] ※	2048×1360
[0.3M EZ] ※	640×424

画像横縦比：[16:9]のとき

[9M]	4000×2248
[6M EZ] ※	3264×1840
[3.5M EZ] ※	2560×1440
[2M EZ] ※	1920×1080
[0.2M EZ] ※	640×360

画像横縦比：[1:1]のとき

[9M]	2992×2992
[6M EZ] ※	2448×2448
[3.5M EZ] ※	1920×1920
[2.5M EZ] ※	1536×1536
[0.2M EZ] ※	480×480

※ インテリジェントオートモード時は設定できません。

撮影メニューの設定方法はP34へ

お知らせ

- 画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。
- 特定のモードではEX光学ズームが使えませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。EX光学ズームが使えないモードについては、49 ページをお読みください。
- [クオリティ]の[RAW]設定時、記録画素数は設定できません。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。

クオリティ

使えるモード: iA P A S M CUST 🎥M SCN

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

[ファイン]	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
[スタンダード]		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
[RAWファイン]	RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像([ファイン]または[スタンダード])を同時に記録できます。※1
[RAWスタンダード]		
[RAW]	RAW	RAW 画像のみを記録できます。※2

※ 1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

※ 2 各画像横縦比の最大記録画素数に固定されます。

お知らせ

- シーンモードの[高感度]、[フラッシュ連写] 時は[スタンダード]に固定されます。
- RAWファイルを利用すると、より高度な画像の編集が可能です。
  編集した画像はパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。
  RAWファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。
- [RAW]は[RAWファイン]または[RAWスタンダード]よりも小さいデータ容量で記録できます。
- 3D 撮影時は、以下のアイコンが表示されます。
  [3D](MPO+ファイン): MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。
  [3D](MPO+スタンダード): MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。

撮影

撮影メニューを使う（続き）

ISO ISO感度

● 詳しくは、62ページをお読みください。

ISO感度上限設定

使えるモード： iA P A S M CUST M SCN

被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。

[AUTO]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]

お知らせ

● クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。
[AUTO]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]
● ISO感度が[AUTO] または[iISO]時に設定が可能です。

ISO ISO感度ステップ

使えるモード： iA P A S M CUST M SCN

[ISO100]～[ISO3200] までのISO感度の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。

[1/3 EV]	[100]、[125]、[160]、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、[640]、[800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]
[1 EV]	[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]

お知らせ

● [1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、ISO感度は[1/3 EV] 時に選んでいた設定値に最も近い値になります。（もう一度[1/3 EV]に変更した場合、設定値は戻りません。[1 EV]時に選んでいた設定値のままになります）

WB ホワイトバランス

使えるモード: iA P A S M CUST SCN

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

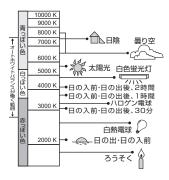
[AWB]	自動調整
[☼]	晴天の屋外での撮影時
[☁]	曇りの屋外での撮影時
[⌂]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[⚡WB]	フラッシュ光のみでの撮影時
[-ᴏ̣-]	白熱灯下での撮影時
[1]、[2]	あらかじめセットしている設定を使用
[SET K]	あらかじめセットしている色温度設定を使用

お知らせ

- 蛍光灯やLED などの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[1]、[2]をご使用ください。
- フラッシュ撮影時、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- 設定したホワイトバランスは電源スイッチを[OFF]にしても記憶していますが、アドバンスシーンモードまたはシーンモードを変更すると、アドバンスシーンモードまたはシーンモードのホワイトバランスは [AWB]に戻ります。
- 以下の場合は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ポップ]、[レトロ]、[ハイキー]、[セピア]、[サンドブラスト]、[ジオラマ]
  - ・人物モードの[屋外人物]、[屋内人物]
  - ・風景モード
  - ・スポーツモードの[屋外スポーツ]、[屋内スポーツ]
  - ・クローズアップモードの [花]、[料理]
  - ・夜景&人物モード
  - ・シーンモードの [パーティー]、[キャンドル]、[夕焼け]、[フラッシュ連写]、[流し撮り]、[星空]、[花火]、[ビーチ]、[雪]、[空撮]

撮影メニューを使う（続き）

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1 [ ]または[ ]を選び、▶を押す

2 白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET]を押す

- 被写体が明るすぎたり暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して再度設定してください。
- 設定後はメニューを終了してください。

色温度設定

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

1 [SET K] を選び、▶を押す

2 ▲/▼ で色温度を選び、[MENU/SET] を押す

- [2500K] ～ [10000K] まで設定できます。

ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。
- クイックメニュー(P36)からも、設定することができます。

1 ホワイトバランスを選び、▶を押す
- [1]、[2] または [SET K] を選択した場合は、もう一度 ▶を押してください。

2 ▲/▼/◀/▶ でホワイトバランスを微調整し、[MENU/SET]を押す

◀	A(アンバー:オレンジ系)	▲	G+(グリーン:緑系)
▶	B(ブルー:青系)	▼	M−(マゼンタ:赤系)

お知らせ
- ホワイトバランスをA(アンバー)またはB(ブルー)方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG+(グリーン)またはM−(マゼンタ)方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+](グリーン)または[−](マゼンタ)が表示されます。
- ホワイトバランスを微調整しない場合は、中心点を選んでください。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- [1]、[2]で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または[SET K]で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準(中心点)に戻ります。

ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に3枚撮影します。

1 「ホワイトバランス微調整」の手順2で [DISPLAY]を押し、▲/▼/◀/▶ でブラケット設定を行う

◀/▶	横方向(A～B)

▲/▼	縦方向(G+～M−)

2 [MENU/SET]を押す

お知らせ
- 設定すると、画面に[WB]が表示されます。
- 電源スイッチを[OFF](スリープモードを含む)にすると、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- シャッター音は1回しか鳴りません。
- クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定すると、ホワイトバランスブラケットは設定できません。
- 動画撮影時は、ホワイトバランスブラケットは働きません。

撮影

撮影メニューを使う（続き）

個人認証

●詳しくは、78 ページをお読みください。

オートフォーカスモード

使えるモード： iA P A S M CUST 🎥M SCN

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

[顔認識アイコン]（顔認識）	人の顔を自動的に検知します。（最大 15 個） 認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
[追尾AFアイコン]（追尾 AF）※	指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。（動体追尾）
[23点アイコン]（23 点）※	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。（AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります）
[■]（1 点）	中央の AFエリア内にピントを合わせます。

※動画撮影中は [■] になります。

お知らせ

●以下の場合、[■] に固定されます。
・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
・シーンモードの [星空]、[花火]、[ハイスピード動画]

●[個人認証] が[ON]のときは [顔認識アイコン] に固定されます。

●以下の場合、[顔認識アイコン]に設定できません。
・クローズアップモードの[料理]
・夜景&人物モードの[夜景]、[手持ち夜景]、[イルミネーション]
・シーンモードの [パノラマアシスト]、[流し撮り]、[空撮]

●以下の場合、[追尾AFアイコン]に設定できません。
・クリエイティブコントロールモードの[セピア]、[ハイダイナミック]、[ピンホール]、[サンドブラスト]
・シーンモードの[パノラマアシスト]
・フォトスタイルの[モノクローム]

●クリエイティブ動画モード時は、[顔認識アイコン] または [■] のみ設定できます。

■ （顔認識）について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

黄色：　シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：　複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

お知らせ

● [測光モード]を[(•)]に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。
● 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[▦](動画撮影時は[■])に切り換わります。
  ・顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている　・顔の陰影が少ない　・動きが速い
  ・被写体が人物以外である　・手ブレしている　・デジタルズーム使用時
● カメラが誤って人物以外を顔と認識した場合は、[☺]以外の設定に変更してください。

■ (追尾AF)を設定する

被写体を追尾AF枠に合わせ、[AF/AE LOCK]を押して被写体にロックする

● 被写体を認識すると、AFエリアが黄色で表示され、被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。(動体追尾)
● もう一度[AF/AE LOCK]を押すと、追尾AFが解除されます。

お知らせ

● ロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤くなったあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
● 以下の場合、[ ]は[■]の動作になります。
  ・被写体を選択していないときや見失ったとき
  ・追尾AFに失敗したとき
● 以下の場合は、動体追尾機能が働かないことがあります。
  ・被写体が小さすぎる　・撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
  ・被写体の動きが速い　・被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
  ・手ブレしている　・ズーム使用時

■ AF エリアの位置と大きさを変更する([■] 選択時のみ)

以下の操作を行うと、設定画面に切り換わります。
● [■] 設定時に [FOCUS] を押す
● メニュー画面で [■] を選び、▶ を押す
● クイックメニュー画面で [■] 選択中、[DISPLAY] を押す

1 ▲/▼/◀/▶ で AF エリアを移動する
  ● 画面内の自由な位置に設定できます。
  (画面の端には設定できません)
  ● 移動中に[DISPLAY]を押すと、AFエリアを中央に戻すことができます。

2 後ダイヤルを回してAFエリア枠の大きさを変更する
  後ダイヤル右回し:拡大
  後ダイヤル左回し:縮小
  ● 4種類の大きさに変更できます。

3 [MENU/SET]を押して設定する

撮影メニューを使う（続き）

お知らせ

- 動画撮影中は AF エリアの移動はできません。
- [測光モード]が [[•]]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。
- インテリジェントオートモードにしたときや、スリープモードが働いたとき、また電源スイッチを [OFF]にしたときは、AFエリア位置は初期状態に戻ります。
- 以下の場合、変更した AF エリアの位置や大きさではなく、中央位置、大枠でAFを行います。
  - ・デジタルズーム時
  - ・暗いときにピントが合いにくい場合

Q-AF クイックAF

使えるモード： iA P A S M CUST M SCN

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。

[OFF]、[ON]

お知らせ

- バッテリーの消耗は早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 追尾AF動作中は働きません。
- 以下の場合、[クイック AF]に設定できません。
  - ・シーンモードの[流し撮り]、[星空]、[花火]、[ハイスピード動画]
  - ・マニュアルフォーカス時

AF-L AE-L AF/AE ロック切換

使えるモード： iA P A S M CUST M SCN

ピントや露出を固定して撮影します。
被写体が AF エリアから外れている場合や、被写体のコントラストが強すぎて露出補正が得られないときなどに便利です。

[AF]	**ピントだけを固定します。** ピントが合うと、[AF-L]が表示されます。
[AE]	**露出だけを固定します。** 露出が合うと、[AE-L]および絞り値、シャッタースピードが表示されます。
[AF/AE]	**ピントと露出を固定します。** ピントと露出が合うと、[AF-L AE-L]および絞り値、シャッタースピードが表示されます。

撮影メニューの設定方法はP34へ

■ AF/AE ロックの設定

1 **被写体にAFエリアを合わせる**

2 **[AF/AE LOCK] を押して、ピントや露出を固定する**

- 追尾 AF 設定時は働きません。
- もう一度 [AF/AE LOCK] を押すと、ロックは解除されます。

3 **撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする**

お知らせ

- 被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。
- ロック後に動画撮影を行った場合、クリエイティブ動画モードではロックしたまま撮影ができます。クリエイティブ動画モード以外ではロックは解除されます。
- ロック後にズーム操作を行った場合は、ロックが解除されます。再度ロックし直してください。
- マニュアル露出モード、アドバンスシーンモード、シーンモード時はAEロックは働きません。

[(・)] 測光モード

使えるモード： iA P A S M CUST 🎥M SCN

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

[(・)]（マルチ測光）	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
[( )]（中央重点測光）	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[・]（スポット測光）	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット

お知らせ

- クリエイティブコントロールモードの[ハイダイナミック]、[ピンホール]、[サンドブラスト]では設定できません。

撮影メニューを使う（続き）

iD レンジコントロール

使えるモード： P A S M CUST

背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。

[OFF]、[弱]、[中]、[強]

お知らせ

- [ISO感度]が[ISO100]のときでも、[iDレンジコントロール]有効時に撮影すると、[ISO感度]は[ISO100]より大きくなることがあります。
- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- [iDレンジコントロール]有効時には、画面の[i◐]が黄色になります。
- [弱]、[中]、[強]は効果の最大範囲を表します。

MIN 下限シャッター速度

使えるモード： P CUST

下限シャッター速度を遅く設定すると、暗い場所での撮影時に明るく撮影できます。
また、速く設定すると、被写体のブレを軽減して撮影することができます。

[AUTO]、[1/250]、[1/125]、[1/60]、[1/30]、[1/15]、[1/8]、[1/4]、[1/2]、[1]

下限シャッター速度設定	1/250 秒 ⟷	1 秒
明るさ	暗くなる	明るくなる
手ブレ	少ない	多い

お知らせ

- 通常は、[AUTO]に設定してお使いください。（[AUTO]以外を選択した場合、画面に[MIN]が表示されます）
- [AUTO]を選ぶと、手ブレ補正設定時にブレ量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。
- [下限シャッター速度]を遅く設定するときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- [下限シャッター速度]を速く設定するときは、暗く写りやすいので、明るいところで撮影することをお勧めします。適正露出でない場合、シャッターボタンを半押しすると[MIN]が赤く点滅します。

I.R 超解像

使えるモード: iA P A S M CUST ●M SCN

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影することができます。

[OFF]	―
[ON]	[超解像]が働きます。
[iA ZOOM]	[超解像]が働き、ほとんど画質を劣化させずにズーム倍率を約1.3倍上げることができます。

お知らせ

- iAズームについては47ページをお読みください。

デジタルズーム

使えるモード: iA P A S M CUST ●M SCN

光学ズーム、EX光学ズーム、またはiAズームよりも、さらに拡大することができます。

[OFF]、[ON]

お知らせ

- 詳しくは、47ページをお読みください。

撮影メニューを使う（続き）

手ブレ補正

使えるモード：

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。動画撮影時はアクティブモード（動画用手ブレ補正）が自動的に働きます。歩きながら動画を撮影するときなど、大きな揺れに対してブレにくくします。

[OFF]、[ON]

お知らせ

- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
  - ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム領域
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 夜景&人物モードの[手持ち夜景]では、[ON]に固定されます。
- シーンモードの[流し撮り]で、[ON]選択時は、縦方向のみ手ブレが補正されます。
- シーンモードの[星空]、[ハイスピード動画]、[スライド3D撮影]では、[OFF]に固定されます。
- アクティブモードはW端時、より強い補正効果が得られます。
- 以下の動画撮影時、アクティブモードは働きません。
  - ・[撮影モード]を[MP4]の[VGA]に設定時
  - ・[コンバージョン]設定時

AF補助光

使えるモード：

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。（撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます）

[OFF]、[ON]

お知らせ

- 補助光の有効距離は 1.5 mです。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- レンズフードは外してください。
- レンズ部により、AF補助光の外周の一部がケラレる場合がありますが、性能上に問題ありません。
- 以下の場合、AF 補助光は [OFF] に固定されます。
  - ・夜景&人物モードの[夜景]、[手持ち夜景]、[イルミネーション]
  - ・シーンモードの[夕焼け]、[流し撮り]、[花火]、[空撮]

AF補助光
ランプ

撮影メニューの設定方法はP34へ

フラッシュ

●詳しくは、50ページをお読みください。

フラッシュシンクロ

使えるモード： P A S M CUST

後幕シンクロとは、車などの動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

[先幕(さきまく)]	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
[後幕(あとまく)]	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

お知らせ
●通常は[先幕]に設定してください。
●[後幕]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
●シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。

デジタル赤目補正

使えるモード： P A S M CUST SCN

赤目軽減（[ ]、[ ]、[ ]）選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

[OFF]、[ON]

お知らせ
●[オートフォーカスモード]が[ ]で顔認識しているときのみ働きます。
●赤目の状態によっては補正できない場合があります。
●インテリジェントオートモード時は[ON]に固定されます。
●以下の場合、[デジタル赤目補正] は使えません。
・夜景&人物モードの[夜景]、[手持ち夜景]、[イルミネーション]
・シーンモードの[スライド3D撮影]

撮影

撮影メニューを使う（続き）

コンバージョン

使えるモード： iA P A S M CUST SCN

別売のコンバージョンレンズを使用することで、より望遠に撮影したり、小さな被写体をよりアップに撮影することができます。

[OFF]	
[T]	テレコンバージョンレンズを装着するとき
[C]	クローズアップレンズを装着するとき

お知らせ

- **レンズの取り付け方については、137ページをお読みください。**
- コンバージョンレンズを使用しないときは、必ず[OFF]に設定してください。
- 以下の場合、[コンバージョン]は使えません。
  - ・夜景&人物モードの[手持ち夜景]
  - ・シーンモードの[フラッシュ連写]、[スライド3D撮影]
- 詳しくは、コンバージョンレンズの説明書をお読みください。

時計設定

- 詳しくは、19ページをお読みください。

動画撮影メニューを使う

クリエイティブ動画モード時、設定可能な撮影メニューは動画撮影メニューに表示されます。
シーンモードの[スライド 3D撮影]では、動画撮影メニューは表示されません。

撮影モード

使えるモード:

動画のデータ形式を設定します。

[AVCHD]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
[MP4]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

画質設定

使えるモード:

記録する動画の画質を設定します。

[AVCHD]を選んだ場合

項目	画質(ビットレート)	コマ数	画像横縦比
[PSH]	1920×1080画素/約28 Mbps	60p	16:9
[FSH]	1920×1080画素/約17 Mbps	60i	
[SH]	1280×720画素/約17 Mbps	60p	

[MP4]を選んだ場合

項目	画質(ビットレート)	コマ数	画像横縦比
[FHD]	1920×1080画素/約20 Mbps	30 コマ/秒	16:9
[HD]	1280×720画素/約10 Mbps		
[VGA]	640×480画素/約4 Mbps		4:3

お知らせ

- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間当たりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- シーンモードの[ハイスピード動画]では、Motion JPEGのQVGAに固定されます。

動画露出設定

使えるモード:

クリエイティブ動画モード時の設定を切り換えます。

[P]、[A]、[S]、[M]

お知らせ

- 詳しくは、76ページをお読みください。

撮影

動画撮影メニューを使う（続き）

C-AF AF連続動作

使えるモード： iA P A S M CUST ■M SCN

一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。

[OFF]、[ON]

お知らせ

- 動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF] に設定してください。
- シーンモードの[星空]、[花火] では[OFF]に固定されます。

風音低減

使えるモード： iA P A S M CUST ■M SCN

音声記録時に風雑音がある場合は、それを自動的に判別し記録しにくくします。

[OFF]、[AUTO]

お知らせ

- 風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なる場合があります。
- 以下の場合、[OFF] に固定されます。
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
  - ・シーンモードの [ハイスピード動画]
  - ・[ズームマイク]を[ON]に設定時

ZOOM ズームマイク

使えるモード： iA P A S M CUST ■M SCN

ズーム操作に連動して、拡大では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに収録します。

[OFF]、[ON]

お知らせ

- [ON]に設定時、ズーム操作を行うと、周囲の音に合わせて動作音も強調されて記録される場合があります。また、[OFF] のときよりも録音レベルが下がります。
- 画像の拡大時には、音声のステレオ感がなくなります。
- 以下の場合、[OFF] に固定されます。
  - ・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
  - ・シーンモードの [ハイスピード動画]

連写画像を見る

■ 連写グループについて

連写設定[40]、[60]で撮影された画像は、1回の連写で撮影された連続画像をひとまとめにした連写グループとして保存されます。
連写グループには連写アイコン[ ]が表示されます。
- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、[ ]が付いた連写グループを消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

お知らせ
- 連写画像の合計が、50000枚を超えると、それ以降に撮影された連写画像はグループ化されません。
- 他機で撮影した連写画像は、連写グループとして認識されない場合があります。
- 時計設定を行わずに撮影した場合、連写画像はグループ化されません。
- 1枚を残した状態で、それ以外の画像をすべて消去すると、連写グループではなく 1 枚の画像として扱われます。

連写画像を連続再生する

◀/▶ で連写アイコン[ ]が付いた画像を選び、▲ を押す

■ 連写グループ連続再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

▲	再生 / 一時停止	
▼	停止	
◀	早戻し/画像戻し※	
▶	早送り/画像送り※	

※一時停止中のみ操作できます。

連写画像を 1 枚ずつ再生する

1 連写アイコン[ ]が付いた画像を選び、▼ を押す

2 ◀/▶ で画像を送る
- もう一度▼を押すと、通常再生画面に戻ります。
- 連写グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)

連写画像を編集する

- 以下の編集メニューが使えます。
  - ・[WEBアップロード設定]、[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]※、[傾き補正]※、[回転表示]、[お気に入り]、[プリント設定]、[プロテクト]、[画像コピー]
  - ※ 連写グループ単位での一括編集はできません。

連写グループ単位(グループ内すべての画像)で編集する

1 再生時に [MENU/SET] 押し、再生メニューを表示する(P34)
2 ▲/▼ で項目を選び、▶ を押す
3 [1枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す
4 連写アイコン [] が付いた画像を選び、編集を行う

連写グループ内の画像を1枚ずつ編集する

1 連写アイコン [] が付いた画像を選び、▼ を押す
2 [MENU/SET] 押し、再生メニューを表示する
3 ▲/▼ で項目を選び、▶ を押す
4 [1枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す
5 画像を選び編集を行う

■ 連写グループ再生時の[お気に入り]/[プリント設定]/[プロテクト]アイコン表示について

連写グループ内の画像に[お気に入り](P115)、[プリント設定](P116)、[プロテクト](P117)設定をすると、グループの先頭画面の各アイコンに設定枚数([プリント設定]時は設定枚数と合計枚数)が表示されます。

連写グループ代表画像(連写の1枚目)	[お気に入り]	[プリント設定]	[プロテクト]
50枚 Ⓐ	2 Ⓑ 50枚	Ⓑ 2 6 Ⓒ 50枚	2 Ⓑ 50枚

Ⓐ 連写グループ内に保存されている全画像の合計枚数
Ⓑ 連写グループ内で設定された画像の枚数
Ⓒ 連写グループ全体で設定されたプリント枚数
- 例えば、2枚の連写画像それぞれに3枚ずつプリント設定しているときは6と表示されます。

お知らせ

- それぞれの編集方法について、詳しくは「再生メニューを使う」をお読みください。(P106)
- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]、[傾き補正]を行った画像は、連写画像とは別に新規保存されます。

いろいろな再生方法

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 再生時に [MENU/SET] を押す

2 ▶ を押す

3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

- 以下の項目を選択できます。

[2D/3D切換] ※	[モード別再生](P105)
[通常再生](P30)	[カテゴリー再生](P105)
[スライドショー](P103)	★ [お気に入り再生](P105)

※ 3D画像の再生方法を切り換えることができます。HDMI出力時のみ表示されるメニューです。再生方法について詳しくは、124 ページをお読みください。

スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、3D写真のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

1 ▲/▼ で再生するグループを選び、[MENU/SET] を押す

- [3D]の画像を3Dで再生する方法については、124ページをお読みください。
- [カテゴリー選択]時は、▲/▼/◀/▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください。
  カテゴリーの詳細については105ページをお読みください。

2 ▲で [開始] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▼を押してスライドショーを終了する

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

再生・編集

いろいろな再生方法（続き）

■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

▲	再生 / 一時停止
▼	停止
◀	前の画像へ※
▶	次の画像へ※

[W]	音量下げる
[T]	音量上げる

※一時停止中および動画または連写グループの再生中のみ操作できます。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。

[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。
- [動画のみ]または[カテゴリー選択]の[ ]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- 連写グループのスライドショー時は、[効果]を設定していても無効になります。
- 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	OFF、ON
[音設定]	[OFF]: 音を出しません。 [AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声（動画のみ）を再生します。
[出力方式]	[2D]: スライドショーを標準形式で出力します。 [3D]: スライドショーを 3D で出力します。

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
- 連写グループまたは動画のスライドショー時、[再生間隔]を設定していても無効になります。
- [出力方式]はHDMI出力時、[3Dテレビ出力]（P45）を[3D]に設定したときにのみ表示されます。

モード別再生

写真、動画、3D写真を分類して再生します。

▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

- [3D]の写真を3Dで再生する方法については、124ページをお読みください。

カテゴリー再生

シーンモードなどのカテゴリー(人物・風景・夜景など)を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。

▲/▼/◀/▶ でカテゴリーを選び、[MENU/SET] を押す

- 画像が見つかったカテゴリーのアイコンが青になります。
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

	シーンモードなどの撮影情報
	個人認証※
	人物モード、i人物、夜景&人物、i 夜景&人物、赤ちゃん、i 赤ちゃん
	風景モード、i風景、夕焼け、i 夕焼け、空撮
	夜景&人物モード、i夜景&人物、i夜景、i手持ち夜景、星空
	スポーツモード、パーティー、キャンドル、流し撮り、花火、ビーチ、雪、空撮
	赤ちゃん、i 赤ちゃん
	ペット
	料理
	トラベル日付
	連写速度を [40] または [60] に設定して連続撮影された写真

※ ▲/▼/◀/▶ で再生したい人物を選び [MENU/SET] を押して再生してください。
連写設定 [40]、[60]で撮影された画像は連写グループ全体が個人認証画像として扱われます。

★ お気に入り再生

[お気に入り]設定(P115)した画像を再生することができます。

再生・編集

再生メニューを使う

画像共有サイトへアップロードする画像を設定したり、撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]または[傾き補正]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをお勧めします。

CAL カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 再生メニューから[カレンダー検索]を選ぶ

2 ▲/▼/◀/▶で再生する日付を選ぶ

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET]を押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- [㎡]を押すと、カレンダー検索表示画面に戻ります。

お知らせ

- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2011年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生メニューの設定方法はP34へ

WEB アップロード設定

画像共有サイト(LUMIX CLUB(PicMate)/Facebook/YouTube)へアップロードする画像を、本機で設定しておくことができます。

- LUMIX CLUB(PicMate)へは写真のみ、YouTubeへは動画のみを、Facebookへは写真、動画どちらもアップロードすることができます。
- **内蔵メモリーの画像には設定できません。カードにコピー(P119)してから[WEBアップロード設定]をしてください。**

1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

[複数設定]選択時
[DISPLAY]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

■ 画像共有サイトへアップロードする

[WEBアップロード設定]をすると、本機に内蔵のアップロードツール(LUMIX WEBアップローダー)がカードへ自動的にコピーされます。
パソコンに接続したあと(P128)、アップロードの操作を行います。詳しくは、131ページをお読みください。

■ [WEBアップロード設定]を全解除する

1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- クオリティを[RAW]にして撮影された画像には、設定できません。
- 他機で撮影された画像には、設定できない場合があります。
- 512 MB未満のカードでは設定できません。

再生メニューを使う（続き）

タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み](P110)で撮影画像に焼き込むことができます。

1 再生メニューから[タイトル入力]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでにタイトルが登録されている画像には[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISPLAY]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 文字を入力する(P82)

- 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは 100枚までです。
- 動画、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像、他機で撮影された画像はタイトル入力できません。

動画分割

撮影した動画を 2 つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。
分割すると、元に戻すことができません。

1 再生メニューから[動画分割]を選ぶ

2 ◀/▶ で分割編集したい動画を選び、[MENU/SET]を押す

3 分割したい位置で▲を押す

- もう一度▲を押すと、続きから動画が再生されます。
- 一時停止中に ◀/▶ を押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。

お知らせ

- 他機で撮影された動画は分割できない場合があります。
- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- [MP4]またはシーンモードの[ハイスピード動画]で撮影された動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。[カレンダー検索]や[モード別再生]の[動画のみ]で検索することをお勧めします。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

再生メニューを使う（続き）

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISPLAY]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

4 ▲/▼で焼き込む項目を選び、▶を押す

5 ▲/▼で設定を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
[撮影日時]	[OFF] [日付]：年月日を焼き込みます。 [日時]：年月日時分を焼き込みます。
[名前]	[OFF] [ ](個人認証)： [個人認証]で登録された名前を焼き込みます。 [/](赤ちゃん/ペット)： シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。
[旅行先]	[OFF] [ON]： [旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。
[トラベル日付]	[OFF] [ON]： [トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。
[タイトル]	[OFF] [ON]： [タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。

6 [MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 0.3 Mより小さい画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・文字焼き込みされた画像
  - ・クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
  - ・他機で撮影された画像

再生メニューを使う (続き)

リサイズ(縮小)　画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

1 再生メニューから[リサイズ(縮小)]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定]選択時

1. ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す
2. ◀/▶でサイズを選び、[MENU/SET]を押す
   - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

[複数設定]選択時

1. ▲/▼でサイズを選び、[MENU/SET]を押す
2. ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISPLAY]を押す
   - この手順を繰り返し、[MENU/SET]を押して決定します。
   - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズ(縮小)できない場合があります。
- 動画、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像はリサイズ(縮小)できません。

トリミング(切抜き) 画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[トリミング(切抜き)]を選ぶ

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 ズームレバーと▲/▼/◀/▶で切り抜く部分を選ぶ

ズームレバー(T): 拡大

ズームレバー(W): 縮小

▲/▼/◀/▶: 移動

4 [MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミング(切抜き)できない場合があります。
- 動画、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像はトリミング(切抜き)できません。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューを使う（続き）

傾き補正

画像の微妙な傾きを修正することができます。

1 再生メニューから [傾き補正] を選ぶ

2 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ で傾きを調整し、[MENU/SET] を押す

▶： 時計回りに回転します。

◀： 反時計回りに回転します。

- 最大2°まで傾きを補正できます。
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 傾き補正を行うと、画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像は傾き補正できない場合があります。
- 動画、文字焼き込みされた画像、[クオリティ]を[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像は傾き補正できません。
- 傾き補正を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させることができます。

1 再生メニューから [回転表示] を選ぶ

2 ▼で [ON] を選び、[MENU/SET] を押す

- [OFF] に設定すると、画像は回転されずに表示されます。

お知らせ

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです]
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。
- マルチ再生時は、回転表示されません。

再生メニューの設定方法はP34へ

★ お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([★以外全消去])

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2 ▲/▼ で [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す

3 画像を選び、[MENU/SET] で設定する

- すでにお気に入りが登録されている画像には[★]が表示されます。

[複数設定] 選択時
- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[1 枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

■ [お気に入り] 設定を全解除する

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ
2 ▲/▼ で [全解除] を選び、[MENU/SET] を押す
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ
- 999枚まで設定できます。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。
- [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

再生メニューを使う（続き）

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P119)してから[プリント設定]の設定をしてください。
連写グループに[プリント設定]を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]を押す

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。
- [複数設定]選択時は、連写グループに対して[プリント設定]を行ったとき、合計枚数が1000枚以上の場合は、[+999]と表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ [プリント設定]を全解除する

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY]を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。
  詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

お知らせ

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- 動画、[クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、プリント設定できません。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[１枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

[複数設定]選択時
- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[１枚設定]

◄/► で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◄/► で選びます。

■ [プロテクト]設定を全解除する

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ
- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

再生メニューを使う（続き）

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

1 再生メニューから［認証情報編集］を選ぶ

2 ▲/▼で［入換え］または［解除］を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET] を押す

4 ◀/▶で人物を選び、[MENU/SET] を押す

5 （［入換え］選択時）▲/▼/◀/▶で入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

画像コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから[画像コピー]を選ぶ

2 ▲/▼で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET]を押す

[IN→SD]：　内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。

[SD→IN]：　カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。

3 ([SD→IN]選択時)◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- コピー中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。

お知らせ

- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN]時は、同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- [プリント設定]、[プロテクト]設定または[お気に入り]設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- [AVCHD]で撮影された動画はコピーできません。

テレビで見る

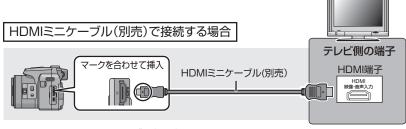
本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

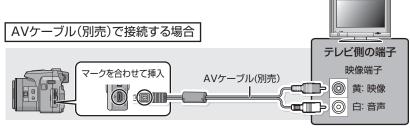
準備：本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。

1 本機とテレビをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）

HDMIミニケーブル（別売）で接続する場合

- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  ・品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）
- [HDMI出力解像度]（P44）を確認してください。
- 音声はステレオで再生されます。
- 画面に画像は表示されません。
- ビエラリンク（HDMI）を使って再生する場合、詳しくは 122 ページをお読みください。

AVケーブル（別売）で接続する場合

- 当社製 AVケーブル（別売）をお使いください。
  ・品番：DMW-AVC1
- [TV画面タイプ]（P44）を確認してください。
- 音声はモノラルで再生されます。
- ファインダー表示はできません。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] を押す

お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AVケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、HDMIミニケーブルからの出力が優先されます。
- USB接続ケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した写真を再生することができます。

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- [AVCHD]の[FSH]、[SH]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

テレビで見る（続き）

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

- 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2010年12月現在)

準備：[ビエラリンク](P44)を[ON]に設定する。

1 HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P120)

当社製テレビ(ビエラ)

2 本機の電源を入れ、[▶]を押す

3 テレビのリモコンで操作する

- 画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

お知らせ

- 動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- 操作アイコン表示中にしばらく何も操作しないと、操作アイコンが非表示になります。
  また操作アイコン非表示中に以下のボタンのいずれかを押すと、操作アイコンが表示されます。
  ・▲/▼/◀/▶、[決定]、[サブメニュー]、[戻る]、[赤]、[緑]、[黄]
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをお勧めします。
- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶]を押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、153ページをご確認ください。

お知らせ

- お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  - ・品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）
- ビエラリンク動作時、本機の[HDMI出力解像度] は自動的に判別されます。

3D写真を見る

3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。
3D 対応の SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した 3D 写真を再生することもできます。

本機で撮影した3D写真を再生できる機器についての最新情報は、下記サポートサイトをご確認ください。 http://panasonic.jp/support/dsc/

準備: [HDMI出力解像度](P44)を[1080i]に設定する。
[3Dテレビ出力](P45)を[3D]に設定する。

HDMI ミニケーブルで本機と 3D 対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(P120)

- [ビエラリンク](P44)を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、122ページをお読みください。
- 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

■ 3D記録した写真のみをスライドショーで 3D 再生する

再生モードメニューの[スライドショー]で [3D] を選んでください。(P103)

■ 3D記録した写真のみを選んで 3D 再生する

再生モードメニューの[モード別再生]で [3D] を選んでください。(P105)

■ 3D記録した写真の再生方法を切り換える

1 3D 記録した写真を選ぶ

2 再生モードメニューから [2D/3D 切換] を選び、[MENU/SET] を押す(P34)

- 2D(従来の画像)で再生されている場合は3Dに、3Dで再生されている場合は2Dに再生方法が切り換わります。
- 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。

お知らせ

- 3Dの視聴に適さない画像(視差が大きすぎるなど)の場合
  - ・[スライドショー]: 2Dで再生されます
  - ・[モード別再生]: 3Dで再生するかの確認画面が表示されます
- 3Dに対応していないテレビで3D写真を再生すると、2つの写真が左右に並んで表示される場合があります。
- 3D で撮影した写真を本機の画面で再生した場合、2D(従来の画像)で再生されます。
- 3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- 3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)
- 3D再生時はセットアップメニュー、再生メニュー、再生ズーム、消去は使えません。

3D写真を残す

レコーダーやパソコンにも 3D写真を保存することができます。

■ レコーダーでダビングする

3Dに対応したレコーダーでダビングすると、3D写真は MPO 形式のまま記録されます。

- ダビングした写真が3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)

3D記録した写真のダビングについて
ダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

■ パソコンにコピーする

詳しくは、127ページの「「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする」をお読みください。

記録した写真や動画を残す

本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、MPO、AVCHD、MP4、Motion JPEG)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SDカードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式: 写真(JPEG、MPO)/ 動画(AVCHD、MP4)

当社製ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

本機で撮影したSDカードを直接入れてダビングできる機器、AVCHD ProgressiveまたはMP4に対応した機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/dsc/

- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

AVケーブルを使って再生映像をダビングする

取り込み可能なファイル形式: 動画(AVCHD、MP4、Motion JPEG)

本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオなどにダビングします。
ハイビジョン対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 本機と録画機をAVケーブル(別売)で接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ

- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P44)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビング時は本機の[DISPLAY]を押し、画面表示を消しておくことをお勧めします。(P46)
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする

取り込み可能なファイル形式: 写真 (JPEG、RAW、MPO)/ 動画 (AVCHD、MP4、Motion JPEG)

CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンに写真や[AVCHD]、[MP4]で撮影した動画を取り込んだり、[AVCHD]で撮影した動画から、従来の標準画質のDVDビデオを作成することなどができます。

またDVDに画像を書き込んだり、複数の写真をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真に合成したり、お好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成することなどができ、それらをDVDに保存することもできます。

1 お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする
- 動作環境やインストールについて、詳しくは別冊の「パソコン接続ガイド」をお読みください。

2 本機とパソコンを接続する
- 接続のしかたについては、129 ページ「パソコンと接続する」をお読みください。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

お知らせ

- 取り込んだファイルやフォルダーを、Windows のエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。（撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください）カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。
- CD-ROM（付属）のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続ガイド」**をお読みください。

■ 使用できるパソコン

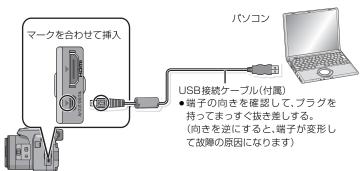
	Windows			Mac
	98/98SE以前	Me/2000	XP/Vista/7	OS 9/OS X
PHOTOfunSTUDIOは使える？	**使えません**		**使えます**※1	**使えません**
[AVCHD]動画をパソコンに取り込める？	**取り込めません**		**取り込めます**※2	**取り込めません**
[MP4]/Motion JPEG動画をパソコンに取り込める？	**取り込めません**	**取り込めます**		**取り込めます（OS 9.2.2/OS X [10.1～10.7]）**
写真をパソコンに取り込める？	**取り込めません**	**取り込めます**		**取り込めます（OS 9.2.2/OS X [10.1～10.7]）**

- Windows 98/98SE以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。

※1　Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている必要があります。
　　お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※2　[AVCHD]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。

写真、[MP4]動画を取り込む([AVCHD]動画以外)

準備: 本機とパソコンの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)を使用してください。
  バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」(P130)をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊されるおそれがあります。

1 USB接続ケーブル(付属)を本機とパソコンに挿入する

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 ▲/▼で[PC]を選び、[MENU/SET]を押す

- セットアップメニューで[USBモード](P44)を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPCと接続します。
- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。[キャンセル](中止)を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外したあと、[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

3 パソコンを操作する

- 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップすると、パソコンに画像を保存することができます。

お知らせ

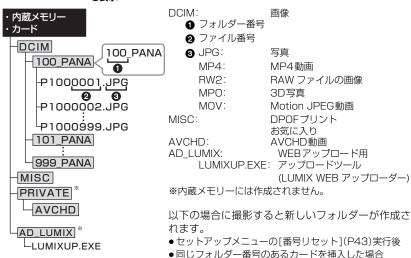
- ACアダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

パソコンと接続する（続き）

■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る（フォルダー構造）

Windowsの場合：　「コンピューター」にドライブ（「リムーバブルディスク」）を表示
Macの場合：　デスクトップ上にドライブ（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」）を表示

DCIM：　画像
❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG：　写真
MP4：　MP4動画
RW2：　RAW ファイルの画像
MPO：　3D写真
MOV：　Motion JPEG動画
MISC：　DPOFプリント
お気に入り
AVCHD：　AVCHD動画
AD_LUMIX：　WEBアップロード用
LUMIXUP.EXE：　アップロードツール
(LUMIX WEB アップローダー)
※内蔵メモリーには作成されません。

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- セットアップメニューの[番号リセット](P43)実行後
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合（他社のカメラで撮影した場合など）
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

パソコンの画面でタスクトレイの「　」アイコンを選び、「DMC-FZ150の取り出し」をクリックする
- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。
- アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

■ PTPモードで接続する
（Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7/Mac OS Xのみ）

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。
- 本機からパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードで、動画は再生できません。

画像を共有サイトへアップロードする

アップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)を使って、写真や動画を画像共有サイト(LUMIX CLUB(PicMate)/Facebook/YouTube)へアップロードします。
パソコンに画像を取り込んだり、専用のソフトウェアをインストールする必要がないので、ネットワーク接続されたパソコンさえあれば、外出先などでも簡単に画像をアップロードすることができます。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7 のパソコンにのみ対応しています。
- 詳しくは、LUMIX WEB アップローダーの取扱説明書(PDF)をお読みください。

準備: [WEBアップロード設定](P107)で、アップロードする画像を設定しておく。
パソコンをインターネットに接続する。
利用する画像共有サイトにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

1 「LUMIXUP.EXE」をダブルクリックして起動する(P130)

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」がインストールされている場合、アップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)が自動的に起動することがあります。

2 アップロード先を選ぶ

- パソコンに表示される画面の指示に従って、以降の操作をしてください。

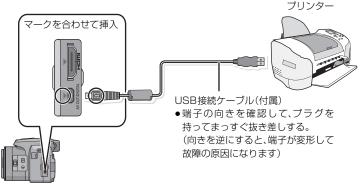
お知らせ

- LUMIX CLUB(PicMate)について
  - ・デジタルカメラで撮影した写真を共有・公開して楽しむ、SNS 型写真共有サイトです。
    詳しくは、LUMIX CLUB(PicMate)のサイトをご覧ください。
    http://lumixclub.panasonic.net/jpn/
- YouTubeおよびFacebookのサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。(本サービスは、2011年8月1日現在のものです)
- 著作権により保護されている画像は、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。

プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

- 連写画像はグループとして表示されません。一覧で表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備： 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

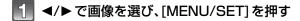
1 USB接続ケーブル（付属）を本機とプリンターに挿入する

2 ▲/▼で[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- [ ]（ケーブル切断禁止アイコン）表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。（プリンターによって表示されない場合があります）
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- AC アダプター（別売）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 動画はプリントできません。

画像を選んで1枚ずつプリントする

1 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

2 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については134ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 ▲を押す

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISPLAY]を押してください。 （もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます） ● 選択が終了したら[MENU/SET]を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定(DPOF)	[プリント設定]で設定(P116)された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り]設定(P115)された画像のみをプリントします。

3 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。
- プリント開始前に設定できる項目については134ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントする（続き）

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

項目	設定内容
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
🖶	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
	プリンターの設定が優先されます。
	1面縁なし印刷
	1面縁あり印刷

項目	設定内容
	2面印刷
	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAW ファイルをプリントする場合、本機で同時に記録された JPEG 画像がプリントされます。JPEG 画像がない場合はプリントされません。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[DISPLAY]を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(個人認証またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BMB9
DCカプラー※1	DMW-DCC6
ACアダプター※1	DMW-AC8
ソフトケース	DMW-CZS100
ソフトバッグ	DMW-CZ18
バッテリーチャージャー※2	DMW-BTC4
フラッシュライト	DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500
シャッターリモコン	DMW-RSL1
ステレオマイクロホン	DMW-MS1
MCプロテクター	DMW-LMC52
NDフィルター	DMW-LND52
PLフィルター(サーキュラータイプ)	DMW-LPL52
AV ケーブル	DMW-AVC1
HDMIミニケーブル	RP-CDHM15、RP-CDHM30
レンズアダプター	DMW-LA5
テレコンバージョンレンズ※3	DMW-LT55
クローズアップレンズ※3	DMW-LC55

※1 DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
※2 海外用変換プラグ(C タイプ)付き(P143)
※3 本機に取り付けるにはレンズアダプター(DMW-LA5)が必要です。

記載の品番は2011年9月現在のものです。変更されることがあります。

コンバージョンレンズ(別売)

コンバージョンレンズを使用すると、より望遠で撮影したり、より小さな被写体をアップで撮影したりすることができます。

準備: レンズキャップ、レンズフードを取り外す。

1 レンズアダプター(別売:DMW-LA5)を取り付ける

- ゆっくり丁寧に回してください。

2 テレコンバージョンレンズ(別売:DMW-LT55)を取り付ける

- クローズアップレンズ(別売:DMW-LC55)も同様に取り付けることができます。

	ズーム倍率(最大画素数時)	撮影可能範囲	
		W 側	T 側
テレコンバージョンレンズ	12× ~ 24× ※	5.5 m ~∞	
クローズアップレンズ	4× ~ 24×	18 cm ~ 50 cm	33 cm ~ 50 cm

※ズーム使用時の実際の倍率は、表示の 1.7 倍になります。

3 撮影メニューから[コンバージョン]を選ぶ(P34)

- [コンバージョン]については、98 ページをお読みください。

4 ▲/▼で[ ]を選び、[MENU/SET]を押して設定する

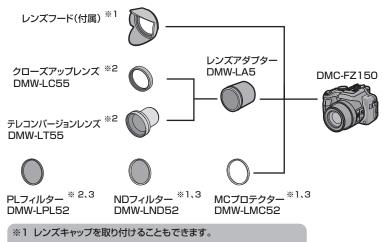
- [ ] を選ぶときも同様に設定してください。
- コンバージョンレンズを外したときは、必ず [OFF] に設定してください。

お知らせ

- **コンバージョンレンズを使用するときは、レンズアダプター(別売:DMW-LA5)が必要になります。**
- コンバージョンレンズとMCプロテクター(別売:DMW-LMC52)やNDフィルター(別売:DMW-LND52)などを併用することはできません。必ず取り外してからコンバージョンレンズを取り付けてください。
- **DMW-LC55、DMW-LT55 以外は取り付けないでください。**
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)が付いた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- テレコンバージョンレンズ使用時は
  - ・三脚の使用をお勧めします。
  - ・手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレの影響により、ピントが合っていないのにフォーカス表示が点灯することがあります。
  - ・ピントが合うまでの時間が通常よりも長くなることがあります。

別売品のご紹介（続き）

■ レンズ装着組み合わせ図

※1 レンズキャップを取り付けることもできます。

※2 付属のレンズキャップは装着できません。

※3 レンズフードを取り付けた状態で、フィルターを取り付けることはできません。

フィルター(別売)

MCプロテクター(別売)は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。
NDフィルター(別売)は、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8(3絞り分)に減少させることができます。
PLフィルター(別売)は、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

お知らせ

- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを強く締めすぎると、外れなくなるおそれがありますので、強く締めないようにしてください。
- フィルターが落下すると、壊れるおそれがあります。取り付けるときは、落とさないようにお気をつけください。
- フィルターに指紋やほこりなどの汚れがついていると、フィルター面にピントが合ってしまい被写体にピントが合わないことがありますので、お気をつけください。
- 詳しくは、各種フィルターの取扱説明書をお読みください。

別売品のご紹介（続き）

外部フラッシュ（別売）

外部フラッシュ（別売:DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500）を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備：本機の電源スイッチを[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じる。

■ 専用フラッシュライト（別売:DMW-FL220）を使う場合

1 ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる

- 専用フラッシュライトのロックリングは、確実に締め込んでください。

2 撮影メニューから[フラッシュ]を選ぶ（P34）

3 ▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す

- 外部フラッシュ接続中は[⚡]も表示されます。

4 [MENU/SET]を押して、メニューを終了する

■ 本機との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。）

お知らせ

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュは使えません。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をお勧めします。
- 取り外しの際は、本機の電源スイッチを[OFF]にしてから行ってください。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを[⚡WB]に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。（P89）
- 広角時に近くで撮影すると、画面の下部がケラレる場合があります。
- 外部フラッシュはステレオマイクロホン（別売：DMW-MS1）との併用はできません。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。

お知らせ

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
  - ・スリープモードを解除するとき
  - ・動画を撮影開始 / 終了するとき
- 動画撮影に使用する場合は、クリエイティブ動画モードで撮影してください。
- シャッターリモコンはステレオマイクロホン(別売:DMW-MS1)との併用はできません。
- 詳しくは、シャッターリモコンの説明書をお読みください。

外部マイク(別売)

ステレオマイクロホン(別売:DMW-MS1)を使用すると、ステレオ集音とモノラル集音を切り換えて集音することができます。
また、風音低減スイッチを[ON]に切り換えると、風雑音を効果的に低減することができます。

バッテリーチェックランプについて

- 電源/マイク設定スイッチを[OFF]から[MONO]または[STEREO]に切り換えたとき、電池が十分あると、バッテリーチェックランプが一瞬点灯します。バッテリーチェックランプが点灯しなくなったら、新しい電池と交換してください。

お知らせ

- 外部マイク接続中は、画面に[ ]が表示されます。
- ステレオマイクロホン装着時は、脱落のおそれがありますので、ステレオマイクロホンのみを持たないようにしてください。
- 風音低減はステレオマイクロホン側のみで設定してください。本体側の[風音低減]は使えません。
- ステレオマイクロホン装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- ステレオマイクロホンは外部フラッシュ(別売)との併用はできません。
- ステレオマイクロホンはシャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)との併用はできません。
- 専用ステレオマイクロホン以外のステレオマイクロホンを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 詳しくは、ステレオマイクロホンの説明書をお読みください。

別売品のご紹介（続き）

ACアダプター（別売）/DCカプラー（別売）

ACアダプター（別売：DMW-AC8）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC6）は、必ずセットでお買い求めください。AC アダプター（別売）は単独では使用できません。

準備：電源スイッチを［OFF］にして、レンズ鏡筒が収納されていることを確認する。

1 **カード/バッテリー扉とDCカプラー扉を開く**

2 **DCカプラーを本機へ入れる**

- DCカプラーの中央部を押して入れてください。
- DCカプラーが①のレバーでロックされるまで押して入れてください。

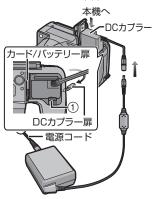
3 **右図のようにケーブルを外に出し、カード/バッテリー扉を閉じる**

- カード/バッテリー扉を閉じるときに、ケーブルを挟まないようにお気をつけください。

4 **ACアダプターを電源コンセントに差し込む**

5 **ACアダプターをDCカプラーの［DC IN］端子に接続する**

お知らせ

- 使わないときは、ACアダプターおよびDCカプラーを取り外し、DCカプラー扉を閉じておいてください。
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付け方

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ
北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東･アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

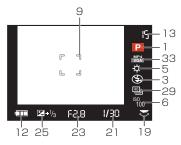
セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニター/ファインダーの表示

液晶モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時

（画面外表示）

1　撮影モード
2　風音低減（P100）
　　ズームマイク（P100）：ZOOM
3　フラッシュモード（P50）
4　AFマクロ撮影（P54）
　　MF（P55）：MF
5　ホワイトバランス（P87）
　　ホワイトバランス微調整（P89）
6　ISO感度（P62）
　　ISO感度上限設定（P86）
7　追尾AF（P91）
8　フォトスタイル（P83）
　　カラーエフェクト（P26）
9　AF エリア（P24）
10　記録画素数（P84）
11　クオリティ（P85）
12　バッテリー残量（P14）
13　記録可能枚数（P18）
　　記録可能時間（P18）：残XXhXXmXXs※
　　フォーカス（P24）
14　カスタムセット（P77）
15　内蔵メモリー（P17）
　　カード（P17）：（記録時のみ表示）
16　スポット測光ターゲット（P93）
17　ヒストグラム表示（P40）
18　トラベル日付（P37）
　　記録経過時間※（P27）
19　後ダイヤル（P23、55）
20　現在日時 / ワールドタイム（P37）：
　　トラベル経過日数（P37）
　　旅行先（P37）
　　名前（P71）
　　月齢 / 年齢（P71）
21　シャッタースピード（P22）
　　下限シャッター速度（P94）：MIN1
22　セルフタイマーモード（P57）
23　絞り値（P22）
　　ズーム表示（P47）：
　　EZ iA ZOOM W T 1X
24　プログラムシフト（P23）
25　露出補正（P58）
26　パワーLCDモード（P39）
　　オートパワーLCDモード（P39）：A*
27　iDレンジコントロール（P94）
28　フラッシュ発光量調整（P53）
29　連写（P60）
　　オートブラケット（P59）：
　　ホワイトバランスブラケット（P89）：WB
30　クイックAF（P92）
　　AF補助光（P96）：AF※
　　AF連続動作（P100）：C-AF
31　測光モード（P93）
　　プレピタモード（P26）：
　　AF/AE ロック（P92）：AF-L AE-L
32　手ブレ補正（P96）
　　手ブレ警告（P21）：
33　撮影モード（動画撮影時）（P99）
　　画質設定（P99）

再生時

1 2 3 4 5 6 7 8
21
20
19
18
17
16
15
14
9
10
11
12
13

1　再生モード(P103)
2　プロテクト(P117)
3　お気に入り表示(P115)
4　文字焼き込み済み表示(P110)
5　フォトスタイル(P83)
6　記録画素数(P84)
7　クオリティ(P85)
8　バッテリー残量(P14)
9　フォルダー･ファイル番号(P130)
　　内蔵メモリー(P17)
　　再生経過時間(P32):XXhXXmXXs※
10　画像番号/トータル枚数
11　動画記録時間(P32):XXhXXmXXs※
12　ヒストグラム表示(P40)
13　露出補正(P58)
14　連写グループ表示(P101)
15　旅行先(P37)
　　名前(P71)
　　月齢/年齢(P71)
　　タイトル(P108)
16　撮影日時/ワールドタイム(P37)
17　トラベル経過日数(P37)
18　パワーLCDモード(P39)
　　情報取得中アイコン(P147):
19　カラーエフェクト(P26)
20　プリント枚数(P116)
21　動画再生(P32)/画質設定(P99)
　　ハイスピード動画再生(P75):
　　連写グループ連続再生(P101):
　　ケーブル切断禁止アイコン(P132)

※hは｢hour(時間)｣、mは｢minute(分)｣、sは｢second(秒)｣を省略した表示です。

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニター/ファインダーに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	原因・対策
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P117)消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P45)してください。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ●コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ) ●DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー/フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。 本機でフォーマット(P45)し直してください。 データは消去されます。
メモリーカードエラー/フォーマットしますか?	本機では使用できないフォーマットです。 ●別のカードを入れてお試しください。 ●パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P45)し直してください。データは消去されます。
電源を入れ直してください/システムエラー	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合やレンズフードがしっかりと取り付けられていない場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー/カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P17) ●SDメモリーカード(8 MB～2 GB) ●SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB) ●SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。

メッセージ	原因・対策
リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	●動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 ●「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P45)することをお勧めします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません	●パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P45)してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。 パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P45)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P43)
16:9TV用で出力します/4:3TV用で出力します	●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P44) ●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P129、132)
情報取得中のため、編集操作はできません	パソコンや他機で画像の消去やファイル名の変更をしたカードを本機に入れると、自動的に新しい情報を取得して連写グループを再構成します。画像ファイルが多いと再生画面に情報取得中アイコン[ ]が長時間表示されることがあり、その間消去や再生メニューの使用はできません。 ●情報取得中に電源スイッチを[OFF]にした場合、それまでに情報を取得できた画像のみが連写グループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。
撮影できませんでした	●3D撮影時、撮影場所が暗すぎる、明るすぎる、または濃淡の少ない被写体の場合、撮影できない場合があります。
このバッテリーは使えません	●パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。
外部マイクは電源オンでご使用ください	●ステレオマイクロホン(別売:DMW-MS1)装着時は、電池の状態および電源が入っていることをご確認のうえご使用ください。(P141)

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P148～155）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影モードでセットアップメニューの[設定リセット]（P43）を行うと症状が改善する場合があります。**

■ バッテリー、電源について

Q（質問）	A（回答）
電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。	●バッテリーが消耗しています。充電してください。 ●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →[エコモード]（P42）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	●ビエラリンク（HDMI）対応のテレビとHDMIミニケーブル（別売）で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 →ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。（P44）
カード/バッテリー扉が閉じない	●バッテリーを確実に奥まで挿入してください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	●モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？ ●内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ →不要な画像を消去して容量を増やしてください。（P33） ●容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できない場合があります。
撮影した画像が白っぽい。	●レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときは、電源スイッチを [OFF] にして、レンズ鏡筒を収納した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→露出が正しく補正されているか確認してください。（P58） ●[下限シャッター速度] を速く設定すると暗く写りやすくなります。 →[下限シャッター速度]（P94）を遅く設定してください。
1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。	→ホワイトバランスブラケット（P89）の設定を解除してください。 →オートブラケット（P59）、または連写（P60）を[OFF]に設定してください。 ●セルフタイマー（P57）が[10秒/3枚]、またはシーンモードが[フラッシュ連写]（P72）に設定されていませんか？

■ 撮影について(続き)

Q(質問)	A(回答)
ピントが合わない。	●撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 →被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ●ピントが合う範囲から外れています。(P24) ●手ブレや被写体ブレしています。(P21)
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P21) →遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー(P57)を使って撮影してください。
オートブラケット撮影ができない。	●内蔵メモリー/カードのメモリー残量はありますか?
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	●ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか?(お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます) →ISO感度を低くしてください。(P62) →[フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P83) →明るい場所で撮影してください。 ●シーンモードの[高感度]に設定していませんか? 高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。	●これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	●蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 ●極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい横すじが出る。	●これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 写真または動画撮影に記録されます。 ●太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。

Q & A　故障かな？と思ったら（続き）

■ 撮影について（続き）

Q（質問）	A（回答）
動画撮影が途中で止まる。	● 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 ● 使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合やパソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット（P45）することをお勧めします。
被写体がゆがんで見える。	● 本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。
ズームが正常に働かない。	● [コンバージョン]（P98）を[ ]または[ ]に設定していませんか？
サイドレバーでズーム操作ができない。	● [サイドレバー設定]（P39）が [FOCUS]に設定されていませんか？ →[サイドレバー設定]を[ZOOM]に設定してください。
被写体をロックできない。（動体追尾できない）	● 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AF枠に合わせて設定してください。（P91）

■ レンズについて

Q（質問）	A（回答）
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

■ 液晶モニター/ファインダーについて

Q（質問）	A（回答）
液晶モニター/ファインダーの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	● この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ● ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	● 電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯やLEDなどの照明器具の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニター/ファインダーが明るすぎたり、暗すぎる。	● [液晶モード]の設定を確認してください。（P39） ● [液晶調整]/[EVF調整]を行ってください。（P39）
液晶モニターに画像が出ない。	● ファインダー表示になっていませんか？ →[EVF/LCD]を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。

■ 液晶モニター/ファインダーについて(続き)

Q(質問)	A(回答)
液晶モニターの画面上に 黒、赤、青、緑 の 点 が現れる。	●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	●フラッシュを閉じていませんか? →[⚡OPEN] を押して、フラッシュを開いてください。(P50) ●オートブラケット(P59)、連写 (P60)を設定しているときは、フラッシュは使用できません。
フラッシュが複数回発光する。	●赤目軽減(P50)にしている場合は、2回発光します。 ●シーンモードの[フラッシュ連写](P72)になっていませんか?

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	●[回転表示](P114)を[ON]に設定しています。
再生できない。 撮影した画像がない。	●[▶]を押しましたか? ●内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか? →カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ●パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか?その場合、本機で再生することはできません。 →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。 ●[モード別再生]、[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]になっていませんか? →[通常再生]に設定してください。(P103)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか? ●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか? →このような画像を消去するには、フォーマット(P45)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)

Q ＆ A　故障かな？と思ったら（続き）

■ 再生について（続き）

Q（質問）	A（回答）
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	● 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？（P19） ● パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	● デジタル赤目補正（[⚡A👁]、[⚡👁]、[⚡S👁]）が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 → フラッシュモードを[⚡A]、[⚡]、[🚫⚡]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P97)
画面に「サムネイル表示」と表示される。	● 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
動画に「カチッ」という音が録音される。	● 動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。 ● 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	● [AVCHD]、[MP4]およびMotion JPEGで撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q(質問)	A(回答)
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	●正しく接続されていますか？ →テレビの入力切換を外部入力にしてください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ →AVケーブル(別売)またはHDMIミニケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P120)
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P44)
ビエラリンク(HDMI)が働かない。	●HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか？(P120) →HDMIミニケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。 →本機の[▶]を押してください。 ●本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？(P44) →テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) →接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 →本機の電源を入れ直してください。 →テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
パソコンに接続して画像を転送できない。	●正しく接続されていますか？ ●パソコンが本機を正常に認識していますか？ →本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P44、129)
パソコンにカードが認識されない。(内蔵メモリーになっている)	→USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。

Q ＆ A　故障かな？と思ったら（続き）

■ テレビ、パソコン、プリンターについて（続き）

Q（質問）	A（回答）
パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）	→ お使いのパソコンが SDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ → 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 → 液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブルを抜いてください。
LUMIX CLUB(PicMate)、YouTube、Facebookへのアップロードがうまくいかない。	→ ログイン情報（ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード）が間違っていないか確認してください。 → パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 → ウィルス対策ソフトやファイアウォールなどの常駐ソフトが、LUMIX CLUB（PicMate）/YouTube/Facebookへのアクセスをブロックしていないか確認してください。 → LUMIX CLUB（PicMate）（http://lumixclub.panasonic.net/jpn/）やYouTube、またはFacebook のサイトもご確認ください。
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 → 本機の[USBモード]を[PictBridge（PTP）]に設定してください。（P44、132）
プリントすると、画像の端が切れる。	→ トリミング（切抜き）や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング（切抜き）または「縁なし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） → お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

■ その他

Q(質問)	A(回答)
本機を振ると「カタカタ」と音がする。	以下の場合は、故障ではありませんので、安心してご使用ください。 ● 電源を切った状態または再生モード時に本機を振ると、「カタカタ」音がする。(レンズが移動する音) ● 電源の [ON]/[OFF]、または撮影と再生の切り換え時に、「カタカタ」などの音がする。(絞り動作の音) ● レンズの繰り出し/収納時やズーム時に、手に振動が伝わる。(鏡筒駆動用モーターの動作) ● 撮影中にレンズから「カチッカチッ」などの音がする。(明るさが変化した場合の絞り動作の音) このとき、液晶モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプが赤く点灯します。
画像の一部が白と黒に点滅する。	● 白飛びが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。(P41) ● [ハイライト表示]が[ON]になっていませんか?
AF補助光が点灯しない。	● 撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか?(P96) ● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	● ズーム動作や本機を動かしたときなどに明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P19)
ズームの動きが一瞬止まる。	● EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	● 電源スイッチを[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源スイッチを[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
放置していたら、突然デモが表示される。	● これは本機の特長を紹介する自動デモです。ボタンを押すと、元の画面に戻ることができます。

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC8）、DCカプラー（別売：DMW-DCC6）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

液晶モニター/ファインダーについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニター/ファインダーの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 持ち運ぶときは、レンズを収納してください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P143)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機を傷めます。

使用上のお願い（続き）

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

チャージャーについて

- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は１ m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

カードについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P43)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P119)をし、そのあと内蔵メモリーをフォーマット(P45)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、上記の「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

使用上のお願い（続き）

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  （推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです）
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
  無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- “AVCHD Progressive”,“AVCHD” および“AVCHD Progressive”, “AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- YouTube は、Google Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

仕様

電源	DC 8.4 V
消費電力	1.6 W(液晶モニター撮影時) 1.4 W(ファインダー撮影時) 1.0 W(液晶モニター再生時) 0.9 W(ファインダー再生時)

カメラ有効画素数	1210 万画素
撮像素子	1/2.3型 MOSセンサー 総画素数1280万画素、原色カラーフィルター
レンズ(ナノサーフェスコーティングあり)	光学24倍ズーム f=4.5 mm～108 mm (35 mmフィルムカメラ換算：25 mm～600 mm) W 端時：F2.8 ～ F8.0(動画撮影時：F2.8 ～ F11) T 端時：F5.2 ～ F8.0(動画撮影時：F5.2 ～ F11)
手ブレ補正	光学式
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム	最大46.9倍(300万画素 [3M] 以下時)
フォーカス	オートフォーカス/AFマクロ / マニュアルフォーカス 顔認識/追尾AF/23点/1点
撮影範囲	AF：30 cm(W 端時)/2 m(T 端時)～∞ AF マクロ/MF/インテリジェントオート /動画： 1 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞ シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影	連写速度
メカシャッター時	2コマ/秒、5.5コマ/秒、12コマ/秒
電子シャッター時	40コマ/秒、60コマ/秒
動画撮影中	2コマ/秒(最大40コマ/3.5M)、5コマ/秒(最大40コマ/3.5M)、10コマ/秒(最大40コマ/3.5M)
ISO感度(標準出力感度)	
写真	オート/インテリジェントISO/100/200/400/800/1600/3200 シーンモードの[高感度]：1600～6400
動画	オート/100/200/400/800/1600/3200/6400
最低被写体照度	約9 lx(iローライト時、シャッタースピード 1/30 秒)
シャッタースピード	
写真	15秒～1/2000秒、 シーンモードの[星空]：15秒、30秒
動画	1/30～1/20000秒 (クリエイティブ動画モードのマニュアル露出とマニュアルフォーカス時：1/8～1/20000秒)
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/フラッシュ/白熱灯/セットモード 1/セットモード 2/色温度設定

露出	プログラムAE(P)、絞り優先 AE(A)、シャッター優先 AE(S)、 マニュアル露出(M)、 露出補正(1/3 EVステップ、−3 EV～+3 EV)
測光方式	マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光
液晶モニター	3.0 型 TFT 液晶(3:2)(約46.1万ドット)(視野率約100%)
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー(約20.2万ドット相当) (視野率約100%)(視度調整付き −4～+4diopter)
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 撮影可能範囲:約30 cm～約9.5 m(W端、[ISO AUTO]設定時)
	オート/赤目軽減オート/強制発光(赤目軽減強制発光)/ 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約70 MB)/SDメモリーカード/ SDHCメモリーカード /SDXCメモリーカード
記録画素数 写真	 画像横縦比[4:3]設定時 4000×3000画素/3264×2448画素/2560×1920画素/ 2048×1536画素/1600×1200画素/640×480画素 画像横縦比[3:2]設定時 4000×2672 画素/3264×2176画素/2560×1712画素/ 2048×1360画素/640×424画素 画像横縦比[16:9]設定時 4000×2248画素/3264×1840画素/2560×1440画素/ 1920×1080画素 /640×360画素 /1920×1080画素(3D) 画像横縦比[1:1]設定時 2992×2992画素/2448×2448 画素/1920×1920画素/ 1536×1536 画素 /480×480画素
動画	AVCHD [PSH] 設定時 1920×1080画素 (60p 記録 / 約28 Mbps、カード使用時のみ) [FSH] 設定時 1920×1080画素 (60i 記録 / 約17 Mbps、カード使用時のみ) [SH] 設定時 1280×720画素 (60p 記録 / 約17 Mbps、カード使用時のみ) MP4 [FHD] 設定時 1920×1080画素 (30コマ/秒、約20 Mbps、カード使用時のみ) [HD] 設定時 1280×720画素 (30コマ/秒、約10 Mbps、カード使用時のみ) [VGA] 設定時 640×480画素 (30コマ/秒、約4 Mbps) MOTION JPEG (シーンモードの [ハイスピード動画] で撮影時) QVGA 320×240画素(220コマ/秒)

仕様（続き）

クオリティ(圧縮率)	RAW/RAW+ファイン/RAW+スタンダード/ファイン/ スタンダード/MPO+ファイン/MPO+スタンダード
記録画像ファイル形式 写真 動画	 RAW/JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応)/MPO AVCHD/MP4/QuickTime Motion JPEG
音声圧縮方式	AVCHD：AC3(2ch) MP4：　AAC(2ch)
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	 USB 2.0(High Speed) NTSCコンポジット オーディオライン出力(モノラル)
端子 MIC/REMOTE AV OUT/DIGITAL HDMI	 ø2.5 mm ジャック 専用ジャック(8pin) miniHDMI C タイプ
寸法	約 幅124.3 mm×高さ81.7 mm×奥行き95.2 mm (突起部除く)
質量	約528 g(カード、バッテリー含む) 約484 g(本体)
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切り換え	なし（日本語のみ）

専用バッテリーチャージャー: DE-A83A

定格入力	100 V－240 V　50/60 Hz
入力容量	19 VA
定格出力	DC 8.4 V　0.43 A

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BMB9

電圧 / 容量	7.2 V/895 mAh

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

接触禁止

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

レンズキャップやひもを持って、本機をぶら下げたり、振り回したりしない

ひもが切れて本機が落下し、けがや破損の原因になることがあります。

⚠注意

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（146～155ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-FZ150
●故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　**診断・修理・調整・点検などの費用**

部品代　**部品および補助材料代**

出張料　**技術者を派遣する費用**

※**補修用性能部品の保有期間　8年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

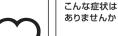
●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は・・・・・・・・・・・・・・

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　**長年ご使用のデジタルカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある
▼	
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）（続き）

■各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	住所
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	拠点	電話番号	所在地
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0511

さくいん

あ行

か行

さ行

た行

Q&A
その他

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK） **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK） **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

● 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社
コンシューマープロダクツ事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

VQT3S54
F0811TU0 (3000 Ⓐ)